

末日聖徒イエス・キリスト教会・2018年12月号

リアホナ

クリスマスの
最も素晴らしい贈り物,
14 ページ

宣教師の最後のメッセージ,
18 ページ

神聖な可能性に向かう成長,
20 ページ

旧約聖書の中で
イエス・キリストを見つける方法,
32 ページ

来年の1月より

別冊子になった
子供の記事を
ご覧ください。

世界の
教会

ボリビア, ラパス



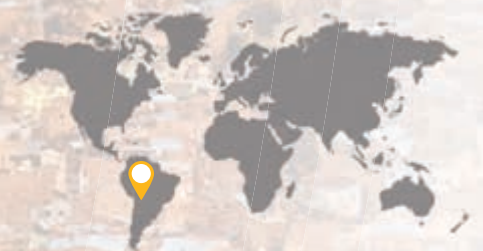


雪を頂くイリマニ山を背景に、赤レンガ造りの街並みが鮮やかな、高地の都市ラパス。ここは国家機関が数多く置かれていることで、しばしばボリビアの行政の中心と見なされます。

アンデス伝道部で福音を伝える宣教師がボリビアに到着したのは、1964年11月のことでした。そして19人の出席者を得て集会を持ちました。宣教師はその1か月後、最初の改宗者にバプテスマを施し、会員として確認しました。現在、ボリビアの教会員数は20万3,000人を超え、255の集会所と5つの伝道部があります。いちばん近い神殿はコチャパンバにあり、ラパスから145マイル(233キロ)、車で7時間の距離です。

ボリビアの教会は、地域社会の人道支援活動をするこ
とでよく知られています。車椅子や新生児用の医療器具
を寄付したり、献血運動に参加したり、また、農業や家庭
菜園、集落開発を援助したり、有事の際には支援活動を取
りまとめたりしています。

- ラパス近郊に住む末日聖徒が集う教会は、40あります。
- いちばん多く使われる言語はスペイン語ですが、ケ
チュア語やアイмара語、グアラニ語を話す人も多くい
ます。
- ボリビアから最初の専任宣教師が召されたのは、
1967年のことでした。
- 2014年12月には、ボリビアの教会設立50周年を
迎えました。ラパスの会員たちは2015年1月に地
域でお祝いの行事を開催しました。



「えっ！これほんとうにするんですか？」

教会の教科課程開発チームが2019年用の新しい教科課程「わたしに従ってきなさい」のテスト施行を会員たちに依頼したところ、何度もこの質問を耳にしました。ほかにもこんな意見をよく聞きました。「最初は『とんでもない!』と思いました。うまくいくはずないと思ってました。」しかし、このような最初の懸念は、徐々に、「聖文研究が完全に変わった」とか「これはいい」という確信に代わっていきました。

なぜ彼らの経験があなたにとって重要なのでしょうか。それは、この新しい教科課程が家庭にいるあなたと家族のためのものであって、教会にいる教師のためだけのものではないからです。

大管長会の提言に従い、今月号では、この教科課程「わたしに従ってきなさい」の最新状況を見ていきます。この教科課程は、2013年に発表された青少年の教科課程の改訂版、2016年の『救い主の方法で教える』、ならびに2018年のメルキゼデク神権と扶助協会の新教科課程に続くものです。

20ページから始まる記事では、教科課程の開発を指導したジェフリー・R・ホランド長老が、実行すれば人を心の底から永遠に変える聖文研究の方法を説明しています。これは単なる

教科課程ではなく、福音を日々学習し、実践する方法なのです。

わたしは家庭中心で教会が支援するこの新しい教科課程の開発について、預言者、聖見者、啓示者が指示を与えるのを見てきて、福音の実践に対する教会の柔軟な対応と、個人の霊的な成長に対してもっと本人が責任を取るよう促す動きに非常に合っていることに、驚きました。これを実行するならば、わたしたちはさらに大いなる光と真理を受け、イエス・キリストに従って悪しき者を捨てる力が強くなり（教義と聖約93：29－40参照）、わたしたちの生活に平安がもたらされ、世の中は善くなることでしょう。

マイケル・マグレビー
教科課程開発部ディレクター



特集

8 ミニスタリングの原則 —— 気遣っていることを伝える

ミニスタリングの相手に愛を伝える方法を学びます。

14 平安という救い主の贈り物

L・ホイットニー・クレートン長老

イエス・キリストは、わたしたちが困難な時期にどのように平安を見出すか教えておられます。

20 人生を心ときめく成長の旅に

ジェフリー・R・ホランド長老

新しい教科課程「わたしに従ってきなさい」は神聖な可能性に向かう成長の助けとなります。

32 「わたしは、有って有る者」旧約聖書におけるイエス・キリストの象徴

スティーブン・P・シャンク

救い主の古代の象徴は、主の役割とわたしたちとの関係についての重要な側面を教えています。

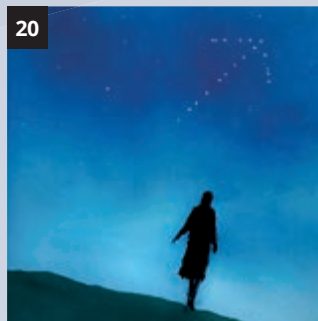
8



14



20



32



青少年

46 一つとなる —— 祝う意義

ダリン・H・オークス管長

神権に関する 1978 年の啓示を通しての神からの呼びかけ、すなわちどのような神の子供たちの団体に対しても差別的態度をやめるようにという呼びかけは非常に重要なものです。

51 一つとなる —— 橋を架ける

ラッセル・M・ネルソン大管長

聖約の道に入ると、文化、言語、性別、人種、国籍の違いは問題ではなくなります。

52 ミニスタリング —— 救い主のように行う

エリック・B・マードック

イエス・キリストは一人一人を愛し、仕える方法について完全な模範を示されました。

56 クリスマスの精神を高める 7 つの方法

シャーロット・ラーカバル

「何だかクリスマスって感じがしない。」そう感じてはいませんか。クリスマスの喜びをほかの人に、そして自分自身にもたらす幾つかの方法があります。

60 クリスマスの欲しいもののリストに御霊の賜物を加える

デビッド・ディクソン

わたしたちが求めるなら、霊的な贈り物は用意されています。

62 質疑応答

「わたしは、救い主に愛されるのにふさわしくないと感じています。 どうしたらこのような気持ちを克服し、自分の価値を見いだすことができるでしょうか。」

64 ポスター ——

そのことを可能にした賜物

65 預言者からの勧め —— 世界を変える助けとなる、あなたにできる 5 つのこと

ラッセル・M・ネルソン大管長



表紙

Holy Night (聖なる夜) / マイケル・マーム

子供

66 カールのクリスマスプレゼント

ジュリアン・デニー・ドーマン

クリスマスの朝早く、カールは家族への完璧なおくり物を見つけました。

68 ケイティーとクインシー

エバン・バレンタインとマリッサ・ウィディソン

クインシーは友達をなぐさめる方法を知っていました。

70 けいけんは愛

ルアイボウ・W

けいけんであることを思い出すことはきんちょうを和らげてくれました。

71 どちらから救われる

アディルソン・デ・パウラ・バレーラ

長老

どろで近所の人の家がこわされたとき、彼らを助けることができると知っていました。

72 キリストについてあかしする

使徒

クエンティン・L・クック長老

73 わたしたちのページ

74 光をかがやかせる ——

この世に光をかがやかせる兄弟たち

ガーナに住む兄弟は周りの人に彼らの光をかがやかせています。

76 聖文の物語 —— ヨナとクジラ

キム・ウェブ・リード

79 色をぬりましょう

今月号の中に
隠れているリアホナを
捜しましょう。
ヒント ——
「静かに深く主思う。
それが ——」



短編記事

5 最初のクリスマスの旅

クリスティーナ・クロスランド

6 信仰の肖像 ——

ブランカ・ソリス ——

パラグアイ、アスンシオン

12 わたしのホームティーチャーと訪問

教師はどこへ行ったのでしょうか

ジーン・B・ビンガム

18 昨日より少し良く

ルイス・オマール・カルドーン

30 壇上から ——

決断と奇跡 ——

やっと分かりました

アイリナ・V・クラッツァー

36 熟考 ——

1つの赤い電球

ローリー・リース

37 教会での奉仕 ——

奉仕から得られる成長

周伯彦と周洗美華

38 末日聖徒の声

80 また会う日まで ——

ジョセフ・スミスを通して

キリストを知る

ブルース・R・マッコンキー長老

ヤングアダルト

42 大きな決断をするときの 静かで細い声

M・ジョセフ・ブラフ

霊的な導きに従い、あなたを導くことのできる主を信頼してください。

もっと読む

福音ライブラリーアプリと liahona.lds.org で、以下のことができます：

- ・最新号を閲覧する。
- ・デジタル版専用コンテンツを見つける。
- ・機関誌のバックナンバーを探す。
- ・自分の話やフィードバックを送る。
- ・定期購読に申し込む、またはだれかに定期購読を贈る。
- ・デジタルツールを使って学習の質を高める。
- ・好きな記事やビデオを共有する。
- ・記事をダウンロードまたは印刷する。
- ・好きな記事を聴く。

お問い合わせ

- 質問やフィードバックは liahona@ldschurch.org まで電子メールでお送りください。

信仰を鼓舞する話を、liahona.lds.org から送信するか、以下の住所に郵送してください。

- ✉ *Liahona*, fl. 23
50 E. North Temple Street
Salt Lake City, UT, 84150-0023, USA

デジタル版のみに
掲載される
特集記事力不足だと感じるときに思い出したい 3 つのこと
リア・パートン

行き詰まりを感じていませんか？ 元気を取り戻して、成長を再開する方法を紹介しましょう。



弟の死後「なぜ」と問わなくなった訳

シメナ・カルドーゾ・コルバラン

シメナは、弟が伝道中に亡くなってから、どのように平安を見いだしたかを説明しています。シメナの父親による話は、今月号の 18 ページに掲載されています。

リアホナ 2018 年 12 月号
第 20 巻 12 号 (14797 300)
末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌 (日本語版)
大管長会：ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オークス、ヘンリー・B・アイリントン
十二使徒定員会：M・ラッセル・バラード、ジェフリー・R・ホランド、ディーター・F・ワークトドルフ、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン、ロナルド・A・ラスバンド、ゲリー・E・スティープンソン、デール・G・レンランド、グレット・W・ゴンゴ、ウリセス・ソアレ
編集長：ヒューゴ・E・マルチネス
顧問：ブライアン・K・アシュトン、ランドール・K・ベネット、ベッキー・クレープン、シャロン・ユバンク、クリスチナ・B・フランコ、ランディ・D・ファンク、ドナルド・L・ホルストロム、エリック・W・コビシュカ、リン・G・ロビンズ
実務運営ディレクター：リチャード・I・ヒートン
教会機関誌ディレクター：アラン・R・ロイボーグ
ビジネスマネージャー：ガブリエル・キャン
編集主幹：アダム・C・オルソン
出版権：フラスカ・オルソン
執筆・編集：マリッサ・デニス、デビッド・ディクソン

デビッド・A・エドワーズ、マシュー・D・フリット、ローリー・ブラー、ギャレット・H・ガース、ラリー・ポーター、ガートン、ジョン・ライアン・ジェンセン、シャロット・ラーカバル、マイケル・R・モリス、エリック・B・マードック、サリー・ジョンソン、オデカーク、ジョシュア・J・バーキー、ジャン・ビンボロ、リチャード・M・ロムニー、ミンディー・セル、チャック・ワードレイ、マリッサ・ウィティン
編集インターン：アレックス・ヒュージー
実務運営アートディレクター：J・スコット・クヌーセン
アートディレクター：タッド・R・ピーターソン
デザイン：ジャネット・アンドリュース、フェイ・P・アンドラス、マンディー・ベントレー、C・キンボール・ポット、トーマス・チャイルド、デビッド・グリーン、コリー・ヒンクレイ、エリック・P・ジョンソン、スーザン・ロフグレン、スコット・M・ムーイ、エミリー・チエコ・レミント、マーク・W・ロビンソン、ブロード・テア、K・ニコル・ウォーゲンホースト
デザインインターン：マリッサ・スミス
版權および許諾コーディネーター：コレット・ネバカー・オス
制作主幹：ジェーン・アン・ピーターズ
制作：アイラ・グレン・アデア、ジュリー・バーデット、トーマス・G・クロニン、ブライアン・W・ギューギ、ギニー・J・ニルソン、デレク・リチャードソン
製版：ジョシュア・デニス

印刷ディレクター：スティブ・T・ルイス
配送ディレクター：トロイ・R・バーカー
日本語版副編集長：大森陽子
郵便先：Liahona, Fl. 23, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0023, USA.
●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替 (口座名：末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号 / 00100-6-41512) にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話：03-5668-3391
発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30
電話：03-3440-2351
価格 年間購読：国内 1,150 円 (送料込み)
(2018 年 1 月より) 海外 1,150 円 (+送料実費)
海外在住の方はお近くのデストリビューションセンターへのお申込みをお勧めします。
普通号 / 大会号 110 円
「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉、「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルメニア語、アルメニア語、ヒスラマ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブアノ語、中国語、中国語 (簡体字)、クローアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィジー語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、マダガスカル語、マーシャル語、モンゴル語、ナルウエー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スウェーデン語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語 (発行頻度は言語により異なります。)
©2018 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved.
印刷：韓国
著作権情報：制限の記載がない限り、「リアホナ」に掲載されているものは、個人的に、また非営利目的 (教会の召しも含む) で使用する場合に複製することができます。この指示内容は変更の可能性が常にあります。複製資料に關しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Fl. 13, Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada :
December 2018 Vol. 42 No. 12. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)
POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 507.1.5.2).NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.



最初のクリスマスの旅

わ

私たちは毎年クリスマスの物語を語り継ぎます。でも、マリヤとヨセフの歩んだ旅路をどれほど心に描いているでしょうか。二人の信仰と犠牲は、物語の中で大切な意味を持っています。



1. ルカ 1:26 - 27, 30 - 31

マリヤは、ナザレという人口400 - 500人ほどの村の出身です。¹ 世にとって、質素な農家の娘でした。しかし、彼女とヨセフは神の御子を育てるという召しに応じたのです。

2. ルカ 2:4 - 5

ベツレヘムへの旅は、少なくとも4日から5日かかったことでしょう。² 聖典を見るかぎり、岩の多い山々を越えるに当たってロバを連れていたことを思わせるような記載はありません。すでに「身重になっていた」マリヤはヨセフとともに旅に出ます。メシヤはベツレヘムでお生まれになるという預言を成就する旅でした（ミカ 5:2 参照）。

3. ルカ 2:7 - 11

ベツレヘムにおいてヨセフとマリヤには、王の王を寝かせておける自分たちの家や小屋はありませんでした。一見するとただの質素な出産にしか見えないこの出来事の中に、この幼子こそまさに神の御子であら



エジプト 少なくとも150マイル（240キロ）



れるという証を得た二人は、大いに謙遜な思いになったに違いありません。

4. マタイ 2:13 - 14

不意に、この小さな家族は、自分たちの町も国も後にしなければなりませんでした。幼

子キリストは2歳になる前から、その命をねらわれていたのです（マタイ 2:16 参照）。しかし、マリヤとヨセフは、救い主へのひたむきな心と愛に動かされ、エジプトへの長い旅に出ることになりました。

5. マタイ 2:19 - 23

慣れない土地でしばらく過ごした後、ヨセフとマリヤはこれまでで最も長い旅に出ます。しかし、その旅路は短く感じられたに違いありません。今度は故郷へ戻る旅だったからです。ひとたび落ち着くと、二人は神に信頼を置き、「ナザレ人と呼ばれるであろう」と預言された御方を育てたのです（マタイ 2:23）。



マリヤとヨセフ同様、わたしたちもイエス・キリストとともに旅を続けているところです。

その旅が長く困難だと思えることがあっても、信仰の歩みは永遠の命へとわたしたちを一歩ずつ近づけてくれます。永遠の命は愛する救い主が下さる賜物です。救い主御自身の旅によって、救いにあずかることができるようになったのです。■

注

1. See James E. Strange, "Nazareth," *Anchor Bible Dictionary*.
2. D・ケリー・オグデン「ベツレヘムへの道」『聖徒の道』1993年12月号、34 参照

夫と母親が病気になり、身の回りのことができなくなると、ブランカは24時間体制で二人の世話をするために、仕事を辞めなくてはなりませんでした。主に頼ることで、ブランカは自分の力以上の強さを得てきました。

コディー・ベル、写真家

ブランカ・ソリス

パラグアイ、アスンシオン

祈ることや、前進する力を主に願い求めることが嫌になったことはありません。常に主に祈っています。家族の試練を通して、わたしは主がずっとともに歩んでくださっていたと気づくことができました。再び立ち上がるチャンスの主は下さるのです。主は信じられないほどの力を与えてくださいます。

「なぜ、わたしが」と自問したことはありません。いつも何か理由があるのだと考えるようにしています。主を信頼し、主が与えてくださるものを受け入れます。とても困難な日々が続く中、主はずっと支えてくださり、わたしは強められてきたのですから。

もっと読む

介護者として支援が必要ですか？ ぜひ lds.org/go/12186 をご覧ください。

高齢の家族の介護について、詳しくは、lds.org/go/12187 をご覧ください。

「信仰の肖像」のほかの記事は、lds.org/go/18 でご覧になれます。





ミニスタリングの原則

気遣っていることを伝える

気遣っていることを伝える方法はたくさんあります。クリスマスの時季には特にそうです。口に出すことはもちろん、メールする、手紙を書く、プレゼントをする、分かち合う、祈る、料理をする、歌う、ハグする、楽器を弾く、花や木を植える、掃除をするといったことで伝えることもできます。まず試してみましょう。

愛を示すことこそが、ミニスタリングの中核となる原則です。中央扶助協会会長のジーン・B・ビンガム姉妹は次のように言っています。「真のミニスタリングとは、愛を動機として、一人一人に対して行われるものです。……愛を動機とするなら、奇跡が起こり、『行方知れず』だった兄弟姉妹がイエス・キリストの福音のすべてを受け入れられるよう助ける方法を見いだすでしょう。」¹

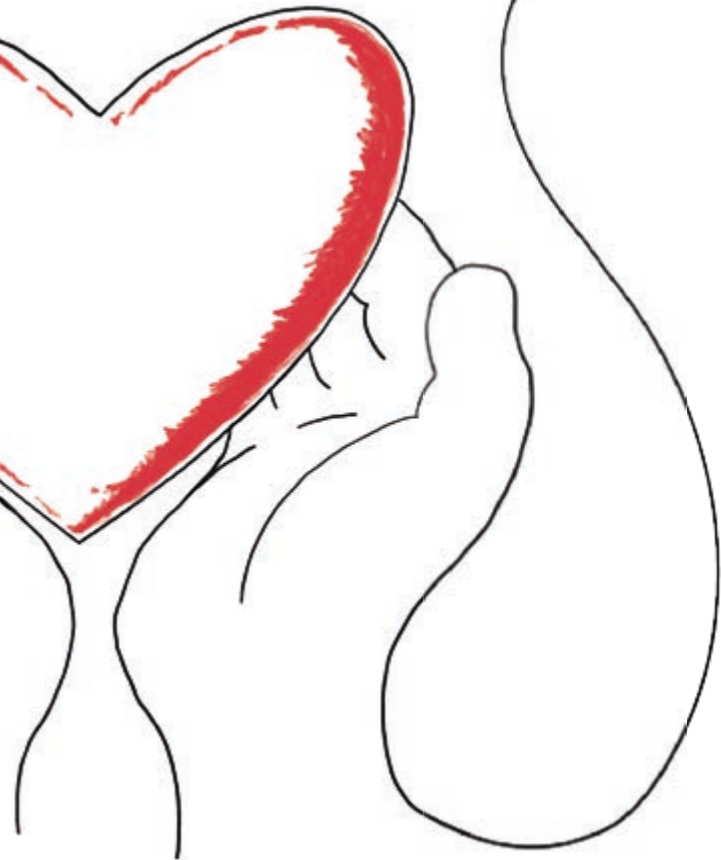
気遣っていることを知ってもらうのは、個人的な関係を築くうえで不可欠です。しかし、受け取り方は人によって様々です。それでは、気持ちが伝わり、喜ばれるような方法で、適切に愛を伝えるにはどうすればいいでしょうか。以下に気遣っていることを伝える方法が挙げられています。中には独自のアイデアを考えるうえで助けとなるものもあるでしょう。

「ミニスタリングの原則」の記事は、互いを思いやる方法を学ぶためのものであって、訪問時にメッセージとして伝えるものではありません。仕える相手をよく知るようになると、心にかけ、思いやっていることを伝えるだけでなく、聖霊の促しによって、相手に必要なメッセージも分かるようになります。

口に出す

時には相手への気持ちを口に出すのがベストだという場合があります。愛していると伝えるだけでなく、尊敬している点を伝えたり、心から褒めたりすることも含まれます。そのように相手を肯定することで関係が強まります（エペソ 4：29 参照）。

- その人の長所を一つ選び、あなたがどれだけ感心しているか伝える機会を見つけましょう。
- 家を訪ねたり、電話したり、パソコンや携帯電話からのメールやカードを送ったりして、その人のことを思っていると伝えてください。



訪問する

会って話をし、耳を傾ける時間を取れば、その人を心から大切に思っていることを表すことができます。会う場所が家であれ、教会であれ、ほかの場所であれ、話し相手が必要な人は大勢います（モーサヤ 4：26；教義と聖約 20：47 参照）。

- その人の必要に応じて、訪問することを計画しましょう。時間を取ってよく耳を傾け、状況を理解するようにしてください。
- 距離や社会規範、そのほかの状況により家を訪問するのが難しい場合は、教会の集会後に一緒に過ごす時間を見つけることを検討してください。



目的をもって奉仕する

個人または家族が何を必要としているかに留意しましょう。有意義な奉仕をすることで、あなたが気遣っていることが伝わります。そのような奉仕は、時間と心のこもった努力という、二つの大切な贈り物を兼ね備えているからです。「ささやかな奉仕の行いこそ、人々〔に〕大きな影響をもたらす可能性を秘めているのです」とピンガム姉妹は言います。²

- 個人または彼らの家族を強める奉仕を提供してください。例えば、両親が神殿に行けるように子供の世話をすることなどです。
- 窓ガラスを掃除したり、犬を散歩させたり、庭仕事を手伝ったりして、生活に打ちめられている人の重荷を軽くする方法を探しましょう。



話に耳を傾けると、心にかけていることを示す方法が分かるようになります。『リアホナ』2018年6月号に掲載されている「ミニスタリングの原則」の記事の中の「聞き上手になる5つのヒント」を参照してください。

一緒に何かをする

話し込んでも関係が深まらないタイプの人もあります。共通の関心事を見つけ、それをしながら一緒に過ごすことで関係が築かれる人もいます。主はわたしたちに兄弟姉妹と「ともにいて彼らを強める」ように強く促されました（教義と聖約 20：53）。

- 一緒に散歩したり、ゲームの夕べを計画したり、定期的に運動したりする時間を設けましょう。
- 町や教会の活動で一緒に奉仕しましょう。



プレゼントを贈る

交わる時間または機会が限られる場合があります。多くの国の文化では、プレゼントを贈ることが思いやりと共感のしるしとなっています。時折ささやかなプレゼントを贈ることで、より良い関係を築きたいと思うあなたの気持ちを伝えることができます（箴言 21：14 参照）。

- 好きなお菓子を届けましょう。
- 役に立ちそうな引用句、聖句、そのほかのメッセージを分かち合いましょう。



愛の奉仕

あなたが霊感を求め、ミニスタリングの相手について知ると、愛や思いやりを個別に伝える方法がもっと具体的に分かるようになります。

アメリカ合衆国オレゴン州のキンバリー・シーボルトは、霊感を求め、愛を示すためにプレゼントをすることについて次のような体験を紹介しています。

「落ち込んだとき、わたしはよく気持ちを奮い立たせてズッキーニブレッドを作るのですが、たいてい8斤できます。だれがそのズッキーニブレッドを必要としているか分かるように心の中で祈りながら焼くのが、おいしく作る秘訣です。温かいズッキーニブレッドを届けることで、近所の人たちと仲良くなれました。

ある暑い夏の日、わたしは道端でブラックベリーを売る家族のそばに車を止めました。ブラックベリーがもっと必要だったわけではありませんが、売っている痩せた男の子はわたしを見て買ってくれそうだったと思うようで、うれしそうでした。わたしはブラックベリーを買い、男の子にズッキーニブレッドを2個プレゼントしました。男の子は許可を求めて父親に目をやり、こう言いました。『見て、お父さん、これで今日食べるものができたよ。』このように、ささやかな方法で愛を示す機会があったことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。」

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老はこのように嘆願しています。「今日わたしたちが願うのは、すべての男女、そして、かつての若い男女が、ただキリストの純粋な愛のゆえに、心から互いを思いやるという決意をさらに深め〔る〕ことです。……主と肩を並べて主のぶどう園で働き、人々の祈りにこたえ、彼らに慰めを与え、その涙をぬぐい、弱っているひざを強めるという、神の圧倒されるほどの働きを助ける……ことができますように。」³

イエス・キリストは心にかけてくださる

イエス・キリストがラザロを死人の中からよみがえらせる前、「イエスは涙を流された。

するとユダヤ人たちは言った、『ああ、なんと彼を愛しておられたことか。』」（ヨハネ 11：35－36）

「わたしはあなたがたのことを哀れに思〔う〕」とキリストはニーファイの民に言われました。それから主は病気の者、苦しんでいる者、足の不自由な者、目の見えない者を連れて来るように言い、「〔彼らを〕ことごとく癒された」のです（3 ニーファイ 17：7－9 参照）。

救い主は人々を思いやることで、わたしたちに模範を示されました。主はこう教えておられます。

「『心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ。』

これがいちばん大切な、第一のいましめである。

第二もこれと同様である、『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ。』」（マタイ 22：37－39）

皆さんの助けを必要としている人はだれでしょうか。どうしたら心にかけていることを示せるでしょうか。■

注

1. ジーン・B・ビンガム「ミニスタリング——救い主のように」『リアホナ』2018年5月号、106
2. ジーン・B・ビンガム「ミニスタリング——救い主のように」104
3. ジェフリー・R・ホランド「〔彼らとともにいて、彼らを強める〕」『リアホナ』2018年5月号、103



中央扶助協会会長
ジーン・B・
ピンガム

わたしのホームティーチャーと 訪問教師は どこへ行ったのでしょうか

ミニスタリングという柔軟なものになったことで、わたしたちはリラックスするのではなく、より愛を示す努力をするべきです。

最 近友人が途方に暮れたようにこう言いました。「わたしのホームティーチャーと訪問教師はどこに行ってしまったのかしら。」

彼女が夫を亡くしたときから、ホームティーチャーも訪問教師もこまやかな心配りと思いやりを示してくれていたのに、2018年4月の総大会で新しいミニスタリングプログラムが発表されて以来、まったく音沙汰がなくなってしまったのです。

わたしたちは皆、新しい取り組みに慣れようと努力しています。ミニスタリングブラザーやミニスタリングシスターの中には、家庭を訪問することが、ミニスタリングの唯一の方法ではないものの、愛と心からの関心を示す方法として確実ですばらしいことだと理解していない人がいるのかもしれません。そして、多くの会員が今も訪問を必要としているのです。

方法より理由を優先する

人によっては、変更の目的を誤解しているかもしれません。ホームティーチャーと家庭訪問をミニスタリングに変更した目的は、単に助け合う方法を

変えるだけではなく、助け合う理由に動かされる奉仕がもっとできるようになることにありました。

ミニスタリングの究極の目標は、人がもっと深く、救い主イエス・キリストに帰依し、天与の潜在力に向かって進歩できるよう助けることです。プログラムに柔軟性が加えられた理由は、もっとリラックスした取り組み方をしよう勧めるためではありません。むしろ、よりいっそう御霊に導かれて努力できるようにするためなのです。

ですから、今日ある人に訪問が必要かどうかは、その人が天の御父の道を前進するには何が助けになるかということをおもに基準にして考えるべきなのです。

ともに学ぶ

ミニスタリングを行うわたしたちに期待されていることについて当初の戸惑いがありながらも、教会の兄弟姉妹は手を差し伸べ合っています。すばらしいことに、わたしは訪問した先々で、数え切れない数の女性（そして男性）から、ミニスタリングを行った、あるいは受けたことによって、人間関係と個人の成長に良い影響があった、という経験談を聞くことができました。

最近アメリカ合衆国ノースカロライナ州を訪問し、あるワード扶助協会会長がステーキの指導者から提供されたアイデアをいくつか紹介してくれました。それらのアイデアはまさに的を射ており、いくつか説明を加えながら、広く紹介する価値があると思いました。



より新しく、神聖な方法

この表は、一部の会員が以前のプログラムについて感じていた点と、わたしたちが皆さんにミニスタリングとはどういうことが理解してほしい点を比較したものです。

従来のプログラム

ホームティーチングと家庭訪問

動機は義務感

箱*

何をするべきですか

プロセスが大切

終了のチェック印を付ける

責任に焦点を当てる

月に1度の訪問

決められたメッセージを届ける

訪問に数えられるには?

兄弟姉妹に割り当てられる

終了を報告する

新しいプログラム

ミニスタリング

動機は愛

真珠

なぜするべきですか

結果が大切

チェックし続ける

人に焦点を当てる

シンプルで柔軟なコンタクト(1度に限らない)

御霊に導かれて福音を分かち合う

霊的な福利に責任を持つ

兄弟姉妹にゆだねられる

心を変える

* 貴重な真珠を持つ宝石商が、真珠を見に来た人々が真珠ではなく真珠を入れた美しい箱に目を奪われたので悲しんだ、というたとえ話があります。同様に、ホームティーチングと家庭訪問からミニスタリングに移行するに当たり、わたしたちも方針や手順という「箱」よりも、意義深いミニスタリングという「真珠」に焦点を当てることができます。

効果的なミニスタリング面接の方法

デジタル版のこの記事の中で、ビンガム姉妹はミニスタリング面接に役立つ5つのガイドラインを分かち合っています。lds.org/go/121813 をご覧ください。

続けて行う

わたしたちは皆「より新しく、より神聖な方法」¹で仕え、導くことを受け入れて、学び合っています。圧倒されたり、不安を感じたりしている人もいるかもしれませんが、「より新しく、より神聖な」とは、「完璧で達成できない」という意味ではないことを心に留めるとよいでしょう。

まだミニスタリングの目的やその方法がよく分からない人も、十分理解したと思っている人も、[ministering.lds.org](https://lds.org)にあるリソースを視聴し、読み、毎月『リアホナ』に掲載される記事「ミニスタリングの原則」から学ぼうとお勧めします(今月号8ページ参照)。

これらの資料は救い主の業と皆さんのミニスタリングの取り組みを連携させるうえで役に立つことでしょう。

兄弟姉妹、皆さんの愛、思いやり、奉仕、自己犠牲に感謝します。皆さんは実にすばらしい方々であり、皆さんのミニスタリングもきっと「すばらしい」²ものとなることでしょう。

注

1. ラッセル・M・ネルソン「ミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号, 100

2. エマ・スミスの言葉『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』14 参照







平 安

という救い主の贈り物

平安がはるかに遠いと思われる世界においてさえ、状況のいかにかわらず、
平安という救い主の贈り物を心の中に保ち続けることができます。

美しいクリスマスの歌と聖歌、クリスマスの家族と友人の集まり、笑顔、元気な子供たちの声に勝るものがあるでしょうか。クリスマスには、家族、友人、また地域社会として、わたしたちを一つにする神聖な力があります。わたしたちは贈り物を交換し、また祝日の食事を楽しむことを心待ちにします。

イギリスの小説家チャールズ・ディケンズ作の『クリスマス・キャロル』で、エブニゼル・スクルージのおいが、この神聖な時季の不思議な力について述べています。「僕はクリスマスがめぐって来るごとに……とにかくクリスマスはめでたいと思うんですよ。親切な気持〔ち〕になって人を赦してやり、情ぶかくなる楽しい時節ですよ。男も女もみんな隔てなく心を打明け合って、……お互いみんなが……旅の道づれだと思〔う〕時は、一年の長い暦をめくって行く間に、まったくクリスマスの時だけだと思いますよ。ですからね、……僕はクリスマスで金貨や銀貨の一枚だって儲けたわけじゃありませんが、やっぱり僕にとってはクリスマスは良いことをもたらしてくれたと思いますし、これから後も良いことはあると思いますね。だから僕は神様のおめぐみがクリスマスの上に絶えないようにと言いますよ!」¹

親として、そして今は祖父として、わたしは、自分の子供たちを見

るときに、そして今は彼らの子供たちを見るときに、クリスマスの不思議な力を思い出します。そして、救い主の降誕を祝い、また家族と一緒に集まるときに互いの交流を楽しみます。わたしが経験したように、皆さんも、子供たちが喜びと純真な心でこの特別な祝日を心待ちにして楽しんでいる姿を見てきたことでしょう。子供たちが喜ぶさまを見ると、わたしたちはそれぞれ、過去の幸せなクリスマスを思い出します。ディケンズはこうも述べています。「時には子供に返るのは良いことであるし、それには偉大な創始者の降誕を祝う、クリスマスが一番よい季節である。」²

わたしはアメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス近くで育ち、家はオレンジ園に囲まれていました。毎年クリスマスの夜に、両親は家族と友人、隣人を我が家に招いて、クリスマスの聖歌を歌い、食事を楽しみました。それはわたしたち全員にとってすばらしい伝統であり、歌は何時間も続くかのように思われました。わたしたち子供は、歌う必要があると感じた時間だけ歌い、その後でオレンジ園に逃げ込んで遊んだものです。

妻のキャシーとわたしも、南カリフォルニアの、比較的海岸に近い所で子供たちを育てました。そこでのクリスマスの特徴づけるのが、そよ風に揺れるヤシの木でした。毎年、我が家の子供たちは港に行き、クリスマス・ボートパレードを見ることを心待ちにしまし



クリスマスシーズンが持つ、人を変える力は、わたしたちの生活を良い方向に変える、イエス・キリストの贖いの力に根差しています。

た。何百隻もの美しいヨットが、あらゆる色のライトを点滅させながら、港を周回し、わたしたちは驚嘆の目でそれを見守りました。

アメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティーに住んでいる今、キャシーとわたしは、地元で演じられる「クリスマス・キャロル」の劇に子供たちと孫たちを連れて行くことを伝統にしています。毎年、わたしたちは、スクルージが冷酷な世捨て人からクリスマスの喜びに満たされた幸せな隣人へと奇跡的な変化を遂げるのを見ながら、自分の内にあるスクルージを捨てようと思うようになるのです。万人に対する救い主の慈愛の模範に従うために、もう少し善いことを行おうと思うようになります。

イエス・キリストの贖いの力

クリスマスシーズンが持つ、人を変える力は、わたしたちの生活を良い方向に変える、イエス・キリストの贖いの力に根差しています。2,000年以上前のベツレヘムにおける神の御子の降誕の話が、ルカによる福音書に記録されています。

「そのころ、全世界の人口調査をせよとの勅令が、皇帝アウグストから出た。……

人々はみな登録をするために、それぞれ自分の町へ帰って行った。

ヨセフも……ガリラヤの町ナザレを出て、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。

それは、すでに身重になっていたいいなづけの妻マリヤと共に、登録をするためであった。

ところが、彼らがベツレヘムに滞在している間に、マリヤは月が満ちて、

初子を産み、布にくるんで、飼葉おけの中に寝かせた。客間には彼らのいる余地がなかったからである。

さて、この地方で羊飼いたちが夜、野宿しながら羊の群れの番をしていた。

すると主の御使が現れ、主の栄光が彼らをめぐり照したので、彼らは非常に恐れた。

御使は言った、『恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、あなたがたに伝える。』

きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。

あなたがたは、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。それが、あなたがたに与えられるしるしである』。

するとたちまち、おびたしい天の軍勢が現れ、御使と一緒に神をさんびして言った、

『いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように。』」(ルカ 2:1, 3-14)

恐れるな

御使いは、羊飼いたちに現れたとき、彼らが恐れているのに気づき、「恐れるな」と告げました。予期せぬ天の使者から放たれた神の驚くべき栄光は、実に羊飼いたちの心に大きな恐れを生じさせたのです。しかし、御使いが訪れて伝えた知らせは、決して恐ろしいものではありませんでした。御使いは奇跡を宣言し、究極の良い知らせをもたらし、文字どおり人類の贖いが開始されたことを告げ



るために訪れたのです。それ以前にもそれ以後にも、これに勝る幸せなあいさつの言葉を告げた使者はいません。

御父の独り子が現世の生活を開始しておられたのです。「きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。」これは実に大きな喜びでした。

わたしたちはだれしも、人生の中で、この御使いが約束した大きな喜びが手の届かない遠くにあるもののように見える瞬間を経験します。わたしたちは全員、病気や失敗、問題、失望、また最終的には死など、数々の弱さと人生の苦難の影響を受けます。多くの人が恵まれて物理的に安全に暮らしていますが、そうでない人たちもいます。多くの人が、生きるために必要なことを行わなければならない、それを行うために肉体的にも精神的にも苦勞を重ねています。

しかし、人生の苦難があるにもかかわらず、各人に対する主のメッセージは、2,000年前に羊の群れの番をしていた羊飼いたちに告げられたものと同じ、「恐れるな」です。恐れるなという御使いの言葉は、あの最初のクリスマスの夜に羊飼いたちの恐れを静めるために言われたというよりは、今日のわたしたちの恐れを静めるために言われたのかもしれません。また、救い主のおかげで恐れが勝利することは決してないということも、御使いはわたしたちに理解させようとしたのではないのでしょうか。究極の恐れが正当なものであることは決してなく、いつまでも続く問題はこの世にはなく、贖いを受けられない人はだれ一人いないという事実を強調しようとしたのではないのでしょうか。

クリスマスに与えられる最も素晴らしい贈り物は、昔から、救い主御自身が与えてくださった贈り物、つまり、救い主の完全な平安です。救い主はこう言われました。「わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。」(ヨハネ 14:27)

平安がはるかに遠いと思われる世界においてさえ、状況のいか

んにかかわらず、平安という救い主の贈り物を心の中に保ち続けることができます。御自分に従うようにという救い主の招きを受け入れるならば、恐れが続くことは永久になくなるでしょう。わたしたちの将来に不安はありません。これは「すべての民に与えられる大きな喜び」です。

預言者イザヤはわたしたちに次のことを思い起こさせています。「恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる。驚いてはならない、わたしはあなたの神である。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わが勝利の右の手をもって、あなたをささえる。」(イザヤ 41:10)

救い主に希望を見いだす

2,000年前にベツレヘムでお生まれになった救い主のおかげで、希望があり、またそれ以上のものがあります。贖い、解放、勝利があるのです。「悪は消え、善は栄える。」³

救い主の降誕を知らせる天からの叫びとして天使の聖歌隊が突如現れ、「いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように」と歌ったのも不思議ではありません。これに勝る心強いメッセージはありません。御心にかなう人々の心を満たすものとして、これに勝るメッセージはないのです。

このシーズンがわたしたち全員にとって平安と喜びの時季となりますように。「ダビデの町に、[わたしたち]のために救主がお生れにな[りました]。このかたこそ主なるキリスト[です。]」■

2015年12月6日にカンファレンスセンターで行われた、大管長会クリスマス・ディボーショナルでの説教“Fear Not”(「恐れるな」)から。

注

1. 村岡花子訳『クリスマス・キャロル』新潮文庫、15-16
2. 『クリスマス・キャロル』123
3. “I Heard the Bells on Christmas Day,” *Hymns*, no. 214



昨日 より少し良く

ルイス・オマール・カルドーゾ

息

子のセルヒオが伝道に出から1年後、彼の伝道部会長から電話がかかってきました。セルヒオは一人息子で、我が家で初めて専任宣教師として伝道に出た子でした。妻のリリアナとわたしは、息子を誇りに思い、息子が二人の娘たち示してくれた模範についても誇りに思っていました。

セルヒオには、良い宣教師になるだろうと思わせる特質がありました。根っからのリーダーで、人柄は朗らかで誠実、人にやる気を起こさせる能力がありました。

教会員であるなしを問わず、だれとでも仲良くなりました。末日聖徒であることを

だれかにかかわられても、上手にユーモアで応じ、気分を害することはめったにありませんでした。

セルヒオがペルー、チクラヨ伝道部への伝道の召しを受けたとき、わたしたちは胸を躍らせました。2013年11月20日、セルヒオの伝道が始まりました。セルヒオは伝道が大好きでした。最初のうちは、息子に手紙を書くのは簡単でした。しかし何か月か過ぎると、霊的に成長した息子の手紙に返事するには、送られてきた内容をよく考えるための時間が必要になり、手紙を書くのに時間を要するようになりました。

わたしたちはセルヒオについて何も心配していませんでした。伝道地は、息子にとって最も安全な場所だと思っていました。2014年10月7日、息子の伝道部会長から電話がかかってきました。

一度も孤独を感じませんでした

伝道部会長の話によると、セルヒオと同僚は、求道者に神殿と永遠の家族について教えていたそうです。セルヒオは閉会の祈りをささげると、動きが止まり、突然意識を失って床に倒れました。セルヒオは祝福を受け、医療機関に救急搬送されました。医師の診断は、脳動脈瘤破裂でした。蘇生を試みたものの、実を結びませんでした。

その知らせを聞いて、わたしたちは深い悲しみに暮れました。それにもかかわらず、リリアナとわたしは、セルヒオの遺体と所持品を引き取るためにペルーまで行かなければならませんでした。わたしたちは冷静に考えることができなくなっていたので、家を出てから帰宅するまで、教会の方が終始そばで助けてくれたことに心から感謝しました。また、聖霊からも助けを受けました。わたしたちを慰め、わたしたち

が耐えられるようにしてくれたのです。一度も孤独を感じませんでした。

悲しい出来事のさなかに感謝を見いだすのは難しいことですが、わたしはセルヒオの死に伴う主の様々な憐れみ深い恵みに感謝しています。息子が亡くなった当時、わたしはビショップとして、リリアナはセミナーの教師として、娘のシメナはワードの若い女性の会長として、それぞれ奉仕していました。わたしたちは周りの人々を愛し、仕えることに忙しかったため、それがわたしたちを福音につなぎとめていました。セルヒオがわたしたちのもとを離れなければならなかったとしても、天の御父がセルヒオを取り去られたのが、わたしたちが強い信仰を持っていたときであったことにこれからも感謝し続けるでしょう。

また、セルヒオがこの世を去ったのが、彼が仕え、「同胞のために務め〔ていた〕」ときであったことにも感謝します（モーサヤ 2：17）。主はこのように宣言されました。「わたしにあって死ぬ者は死を味わわないであろう。死は彼らにとって甘いからである。」（教義と聖約 42：46）

聖霊は、独り子がわたしたちのために亡くなられたときに天の御父がどのようなことに耐えられなければならなかったかをかいまみる機会をわたしに下さいました。神に対して怒る資格など、わたしにはみじんもないことに気づきました。天の御父は、わたしの状況を御存じでした。平安がもたらされ、わたしは御父の御心とセルヒオの死のタイミングを受け入れられるようになりました。リリアナも同じことを経験し、同じように感じました。

慰めの言葉

2005 年、セルヒオとシメナがまだ幼いときに、わたしたち家族は神殿で結び固

めを受けました。少したってから、ルースは聖約の子として生まれました。セルヒオは伝道に出る前に、ルースにバプテスマを施しました。

セルヒオが亡くなって 3 日後、ルースはセルヒオの夢を見ました。それはルースの 9 回目の誕生日の晩のことでした。その夢の中で、ルースとセルヒオは手に手を取って二人で一日中歩き、セルヒオはルースに慰めの言葉をかけました。

ルースとシメナはセルヒオとともに仲が良かったので、セルヒオを亡くして寂しく

わたしたちは、
福音に従った生活を
続けなければなりません。
そうすることで、セルヒオと
再び家族として会うことが
できるのです。

思っています。ルースは今もその夢を思い出し、慰めを受けています。

ある日、リリアナとわたしがセルヒオの所持品を見ているとき、彼の伝道用手帳を見つけました。どの日のページにも、セルヒオはこう書き込んでいました。「昨日よりももう少し良くなろう。」

この言葉がわたしの脳裏に焼き付いています。わたしたちが福音に従った生活を持続しなければならないことを思い出させてもらっています。そうすることで、この世の人生が終わったときにわたしたちは家族として一緒に過ごすことができます。再び家族としてセルヒオとともにいることができるのです。

わたしたちがつらい経験をするときに、救い主は支えてくださるでしょう。救い主の約束が確かであることを知っているように、そのことが真実であることを知っています。ですから、わたしたちは福音にしっかりとつかまり、セルヒオの模範に倣います。毎日、少しずつ良くなるよう努力します。■
筆者はアルゼンチン、サルタ在住です。





人生を
心ときめく

成長の 旅に



十二使徒定員会
ジェフリー・R・
ホランド長老

福音を学習し、実践し、
教えることは、
神聖な可能性に向かう成長の
中心を成すものです。

編集者注：『リアホナ』のために書き下ろしたこの記事で、ホランド長老は、新しい教科課程「わたしに従ってきなさい」の基礎となる、改心の力強い原則を伝えています。

現

代は、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員にとって何と胸躍るすばらしい時でしょうか。主の王国の最近の発展を考えると、神がわたしたちを山あり谷ありの心ときめく旅に連れ出しておられることは明らかなようです。想像だにできない壮大な風景は、わたしたちがほんの少し高い所まで登って初めて、眼前に開けます。

今年度を振り返っただけでも、わたしたちは愛する預言者に別れを告げ、愛を込めて新しい預言者を支持しました。扶助協会とメルキゼデク神権定員会の集会は新しい形態を取るようになり、ともに評議して主の業を成し遂げることにさらに重点が置かれるようになりました。それと同じ趣旨で、主が大祭司と長老を合わせて一つの定員会にされるのを見ましたし、神権者と姉妹が神の子供たちにミニ

スタリングを行う方法が劇的に変わるのも目にしてきました。これだけでは息を飲むのに足りないというのであれば、大管長会が最近発表した個人と家族の聖文研究を支援する資料について考えてみてください。これに連動して初等協会と日曜学校の資料も変わりました。現在の伝道活動や家族歴史の探求、神殿活動の進展については、言うまでもありま

単なる方針の変更やプログラムの刷新、手引きの改訂を超えた大きな変更であることを理解してほしいのです。主の業は常に、最終的には人であって、プログラムではありません。組織やスケジュール、教科課程のどんな改変を主が指示されようと、変わってほしいと主が心から望んでおられるのは、皆さんであり、わたしです。主はわたしたちの心を変え、わた

福音を教え、学び、実践することは、
わたしたちが神聖な可能性に向かって成長し、
天の両親のような者になるための中核となる重要な原則です。

せん。

そして、今後さらに多くのことが変わるのには確かです。信仰簡条第9条には、「わたしたちは、神がこれまでに啓示されたすべてのこと……を信じる」と述べられています。これはたいていの場合、容易な部分です。「神がこの後も、神の王国に関する多くの偉大で重要なことを啓示されると信じ〔て〕」それがどんなものであっても受け入れる覚悟を固めるためには、特別な種類の信仰が必要になります。わたしたちがすでに非常に高尚な夢を抱いているとしても、もしも望むならば、神はわたしたちが行けるとは夢にも思わなかった所まで連れて行ってくださいます。神の思いと神の道は、確かにわたしたちの思いや道よりもずっと高いのです（イザヤ 55：8－9 参照）。ある意味で、わたしたちは、ジョセフ・スミスからこう言われたカートランドの人々とそう変わらないのではないのでしょうか。「皆さんはこの教会と王国の行く末について、母親のひざにいる幼子ほどしか知っていません。」¹

主はわたしたちの心を変えたいと思っておられる

たとえそうであっても、過去を振り返って、これが

私たちの未来を明るくものにしたいと思っておられます。

ところが、次の角を曲がった先にある偉大で重要なものが、わたしたちにはまだ見えません。しかし、究極の目標はある程度分かっています。

「わたしたちがどうなるのか、まだ明らかではない。彼が現れる時、わたしたちは、自分たちが彼に似るものとなることを知っている。そのまことの御姿を見るからである。」（1ヨハネ 3：2）

「あなたがたはどのような人物であるべきか。まことに、あなたがたに言う。わたしのようでなければならない。」（3ニーファイ 27：27）

「あなたがたは、……父の完全を受け、わたしが父によって受けているように、あなたがたはわたしによって栄光を受ける……。それゆえ、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは恵みに恵みを加えられるであろう、と。」（教義と聖約 93：20）

皆さんのことは分かりませんが、わたしにとって、それは長い旅だと思います。しかし、爽快な旅です。高いけれどもそのような神聖な目標が中心にあるからこそ、回復された福音はこんなにも魅力的で霊を奮い立たせるのです。魂の奥底にこだまする記憶



は、これこそがこの世に來た理由であるとわたしたちに告げます。わたしたちが天の御父の計画を受け入れたのは、何よりも、御父のようになりたかったからです。途方もない目標で、決して容易に達成できるものではないことは分かっていました。しかし、それに届かないものではどうしても満足できなかったのです。わたしたちの霊は成長するために創造され、わたしたちはそのときも今も、旅に駆り立てられています。

学習と変化

福音を教え、学び、実践することは、わたしたちが神聖な可能性に向かって成長し、天の両親のような者になるための中核となる重要な原則です。この過程をわたしたちは**永遠の進歩**と呼ぶこともあれば、**改心**と呼ぶこともあり、単に**悔い改め**と呼ぶこともあります。しかし、呼び方はどうあれ、それには学習が伴います。預言者ジョセフ・スミスは言いました。「皆さんはどのようにして自ら神々となり、王となり、神に仕える祭司となるかを学ばなければなりません。……低い階級から別の階級へ、小さな能力から大きな能力へ……と進んで行〔く〕……のです。……

はしごを登るときは、一番下から始めて、一段ずつ登って行かなければなりません。そしてついには、一番上の段にたどり着くのです。福音の原則も同じです。第一のもののから始めなければならず、昇栄に関するすべての原則を学ぶまで続けていくのです。」²

では、学ぶことについて話しましょう。もともと教えるのが好きなわたしは、学ぶという言葉や概念が大好きですが、それを普段よりも明確に定義するべきだと思っています。福音の目的からすると、学習に知識は伴いますが、学習とは知識の蓄積ではありません。また、受動的に講義を聞いたり事実を暗記したりすることでもありません。わたしの言う学習とは、成長して変わるという意味であり、改善に至る方法であり、真理を知ることです。それによって、人はあらゆる真理の神に近づくようになります。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、学習と、この改心による心の変化を結びつけて、こう教えています。「証は、聖霊が熱心な真理の探究者に確信をお与えになるときに育まれ」、それは信仰を育てます。そして、信仰は「悔い改めて神の戒めに従順になるよう促します。」改心に欠かせないこれらの要素は、わたしたちを「世の道から主の道へ」と方向転換させて、「大きな心の変化をもたら〔す〕」のです。³

イスラエルの十二部族の名を知ることや、オリーブの木の比喩を図解することは有益ですが、学習とはそういうことではありません。学習とは自分を変えること、つまり、神が御存じのことがさらに分かるようになったために違った（善い）人物になる、ということなのです。

わたしが話しているような種類の学習はあまりに壮大で、教室にはな

じまず、45分のレッスンでまとめることもできない、ということが、皆さんには分かるでしょう。聖文や預言者、両親、太陽の光、雨の日、霊的な促し、日々の生活で学ぶ事柄そのものがすべて、神と神の計画について学ぶ機会を提供しています。なぜなら、確かに「すべてのものが」主を「証する」からです（モーセ6：63）。結局のところ、わたしたちは皆、教会に限らず、いつでもどこでも、わたしたちに学ぶ意志があれば神が喜んで教えてくださるということが分かります。子供や友人、

家庭は教室でもあり、実験室でもあるからです。

家庭では福音の学習と実践が非常によく溶け合っていて、
区別できないほどです。

隣人や職場の同僚と一緒にいるふとした瞬間、バスで見かける男女やスーパーマーケットで気遣ってくれる従業員との何気ない交流の中に、学ぶ機会があります。

しかし、神が日々わたしたちに教えようとしておられるこれらすべての真理は、もしもわたしたちがアルマの勧告に従って御言葉を試し、ヤコブが言うように聞くだけでなく御言葉を行う者になって養い育てるのであれば、石地にまかれて焼かれ、ふさがれてしまう非常に多くの種でしかありません（マルコ4：1－20；ヤコブの手紙1：22；アルマ32：27－43参照）。真理を学び、それに基づいて行動すると、わたしたちの証は育ちます（ヨハネ7：17参照）。そして、試練があろうともそれを実践して、真理が自分の一部となるようにたゆまぬ努力をします。するとわたしたちは変わり、さらに真理の源である御父のような者になるのです。⁴

福音学習の中心は家庭

福音を教え、学び、実践するのは「家庭を中心と」して「教会」が支援するものでなければならないとわた



したちが言う理由は、以下のとおりです。⁵ 第1に、家庭は人がほとんどの時間を過ごす所だからです。教会で過ごす時間よりも家庭で過ごす時間の方が長いことは確かです（働きすぎのビショップもありますが）。たとえ非常においしい食事であっても、わたしたちの肉体は、週に1度の食事では長く生き続けることはできません。同じように、この上なくすばらしい教会のクラスだとしても、教会のクラスに1時間出席することが「キリストの言葉をよく味わ[う]」おもな機会だとしたら（2ニーファイ31：20）、霊的な栄養不良に陥る危険があります。

第2に、家庭は教室でもあり、実験室でもあるからです。家庭では福音の学習と実践が非常によく溶け合っていて、区別できないほどです。この生ける実践室での経験は、とにかく教室だけでは再現することができません。

最も大切なのは、家庭は天を映し出す鏡であり、この世で目指すべき永遠の目標を思い出させてくれる場だということでしょう。または、そのような場になり得るのが家庭なのです。大管長会第二顧問のヘンリー・

B・アイリング管長はこう言っています。「地上の家族は完全ではありませんが、神の子供たちをこの世界に歓迎する最善の機会を与えてくれます。地上で唯一、わたしたちが天で感じた愛にもっとも近い愛、すなわち両親の愛によって迎えるのです。家族はまた、わたしたちを神のみもとへ導くのに最も優れた、道徳や真の原則を守り、伝える最善の方法でもあります。」⁶

わたしの言葉に親の皆さんは驚いたでしょうか。そうでなければ幸いです。このように家庭で教え、学び、実践することを強調するのは、個人と家族の負担を重くするためではありません。実際にはまったく反対なのです。わたしたちは家庭での皆さんの努力を認め、支援することによって、どうかして皆さんの重荷を軽くすることができたらと考えています。さらに良いのは、「容易に重荷に耐えられるように」(モーサヤ 24:15)、皆さんを力づけられることではないかと思っています。

教会での福音学習の支援

こうしてクラスの外の広い視野から福音を見るからといって、クラスが大切ではないというわけではありません。もちろんわたしたちは、有意義な学習が教会で行われることを望んでいます。事実、教会のクラスは支援するという役割を果たしており、この支援は家庭中心の学習に不可欠です。しかし、生活を変える助けをするためには、生活状況と無関係に教会で教えることはできません。教師と生徒が経験していることに関連したことを教え、双方の経験を役立てなければならぬのです。

そこで明らかなのは、手引きや黒板、椅子の配置は優先すべき事柄ではないかもしれないということです。話し合いに導く優れた質問ですらそうです。神の子供たち一人一人と彼らの永遠の進歩こそが、努力と情熱を傾けるべき対象でなければなりません。わたしたちは人生に触れようとしているのであり、椅子やチョーク、視聴覚機器を使うのは、それが人生に触れるのに役立つ場合だけです。救い主の御心を分かりやすく言うようになります。つまり、世界一偉大な教義の説明をしても、その教義が個々の生徒の人生や愛

家庭での福音の学習と実践

末日聖徒の研究者とそうでない研究者の双方の研究から、家庭中心の宗教教育は有力で子供への影響が長く残ることが分かっています。子供たちは大人になる過程で、若い時代の家庭において確立された宗教的信条や生活様式を保ち続けることがよくあります。

「家族——世界への宣言」にあるように義の原則に基づいて家庭を築く親に育てられた子供は、時とともにその恩恵が蓄積されて、霊的な面でも物質的な面でも祝福を受けます。

また、アメリカ合衆国で教会が行った調査によると、家族の祈りと家族の聖文研究を少なくとも週に数回行い、家庭の夕べを毎週行う末日聖徒の家庭で子供時代と青少年時代を過ごした人は、成人してから毎週教会に出席し、エンダウメントを受け、神殿で結婚する割合が、そうでない人より約20パーセント多いということも、分かっています。

もちろん、子供たちには選択の自由がありますから、定期的な家族の祈りや家族の聖文研究などの宗教的な努力を親が家庭で忠実に行ったとしても、親の価値観を子供が必ずしも受け入れるわけではありません。次の世代に宗教的な考え方や行動が伝わる可能性は、親が良い模範を示し、愛のある親しい関係を子供たちとの間に維持し、宗教的な話題についてざっくばらんに話すときに高くなります。家族が個人に及ぼす影響はそれほどまでに大きいので、相当な数の「放蕩息子」が最終的には群れに戻るのです。

この調査から、家庭中心の豊かな福音学習は良い結果をもたらすことが分かりますが、新しい改宗者や、福音の実践があまりできていない家庭にいる会員にとっては特に、教会からの支援が大切だということも分かります。このような会員には模範を見せたり指導したりするとよいかもしれません。ほかの家族と一緒に家庭の夕べを開いたり、家族の祈りを続けて行う方法を学んだり、家庭で宗教の良い面について話す方法を観察したり、経験豊富な会員と一緒にミニスタリングを行ったりするのです。

情、考えや気持ちに反映されないとしたら、教師を召してクラスを開いても何の役に立つでしょうか。彼らは神が救いと昇栄に至らせたいと心から望んでおられる人たちなのです。

成功の真の尺度は、レッスンがいかにスムーズに進んだかでも、どれほど上手に時間を使えたかでも、後で教師がどれだけ褒められたかでもありません。生徒が何人参加したかですらないのです。成功したかどうかは、生徒の生活にどのような

ことが起こるかで決まります。エレーロ兄弟は、自分が直面している問題を乗り越えるのに役立つことを、先週のクラスで聖文の中から何か見つけたのでしょうか。さらに言えば、クラスで学んだことのおかげで、必要な答えを週日に見つける力がついたのでしょうか。彼がその週に経験したことを話したとき、シュミット姉妹は、神が自分のことも助けてくださると信じるのに必要な希望と信仰を見いだしたのでしょうか。（「ほかの人が運動するのを見るだけでは痩せない」参照）

これはすべて次のことを意味しています。つまり、教師は、新しい教授用資料が以前の教師用引きで見慣れていたのとどこか違うことに気づきます。何をどうするかについて具体的な指示が少なくなっていることに気づくかもしれません。あえてそのようにしたのです。それは、皆さんと生徒たちに経験してもらうためであり、自分自身の経験とひらめきを役立ててもらうためでした。（「ソロで歌うか聖歌隊を指揮するか」参照）

では、学習コースが新約聖書で、わたしが日曜学校の教師だと仮定しましょう。

わたしは必ずしもマタイ5章の背景資料を山ほど抱えてクラスにやって来るわけではありません。山上の垂訓に関する知者の靈感あふれる言葉の引用や、平和を作り出す者になる方法を学ぶ独創的な活動の用意はなく、終了時刻の5分前まですべて計画済みというわけでもありません。その代わりに、わたしはマタイ5章に出てくる原則を研究してそれを実践することを生徒たちに期待すると同時に、自分もそれを実践します。唯一違うのは、わたしがクラスの生徒一人一人について、またどうすればその原則が彼らにとって有意義なものになるかについて、もっと考え、祈ってそれを行うという点です。そして、クラスでは

御霊の導きを受け、教化し合い助け合ってマタイ5章を研究し、その教えに従って生活するよう生徒たちを導き、聖文に出てくる尊い原則と自分の生活との間に接点を見いだせるよう助けます。何よりもわたしは、事実を信仰に、疑問を探究に変える瞬間を捉えられるよう靈感を求めて祈ります。

もちろん、初等協会では、教師としてのわたしの役割は少し異なります。しかし目標は、小さい子供たちを45分間楽しませることで、彼らを静かにさせて邪魔され

ほかの人が運動するのを見るだけでは痩せない

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老は、福音の学習をフィットネスセンターに行くことに例えて、生徒は「ほかの人が運動するのを見ているだけでは強くなりません」と言っています。「学び、そして参加するのです。霊的に強くなるにつれて自信がつき、さらによく実践できるようになります。」（「信仰と希望と慈愛の教室」〔中央幹部との夕べ、教会教育システム宗教教育者への説教、2014年2月28日〕broadcasts.lds.org）

ソロで歌うか聖歌隊を指揮するか

教師はすべてが自分にかかっているかのようで、よくソリストのように感じます。しかし、そうではなく、自分を聖歌隊の指揮者と見るべきです。教師の役割は独特で、必要とされています。話し合いを導き、福音に従って生きたいという気持ちを起こさせ、すべてを純粋な福音の原則に帰着させるのです。しかし、音楽はわたしたち全員から発せられます。教師は、わたしたち皆が内に持つ福音の歌声を見いだせるよう、聖文研究で自ら経験するよう導き、啓発してくれます。そして、わたしたちはクラスに来て、自分の意見や発見したことを分かち合うのです。これが歌声に加わります。

ずにわたしの言いたいことを言えるようにすることでもありません。わたしの目的は、子供たちを自立した学習者として成長できるようにし、福音の真理によって人生を充実したものとする方法を彼らが理解できるように助け、彼らの最も大切な福音の教師である親を支援することです。

さて、わたしは親たちをあせんとさせ、教師を驚かせたかもしれません。そうだとしたら、わたしの考えを2点話して、安心してもらいましょう。(1) あなたが教えているのは人であってレッスンではなく、あなたはどんな手引きよりも生徒のことをよく知っています。(2) 福音を学び実践しようとする努力こそが、福音を人に教えるための最善の準備です。生活の中に、そして教える場に御霊を招く最善の方法は、自分自身が福音を学び、実践することだということを、忘れないでください。この教会では、御

成功したか
どうかは、
生徒の生活に
どのようなことが
起こるかで
決まります。



霊が究極の教師です。そして、幸いなことに、御霊の影響力には限りがありません。

主は道しるべを付けて導かれた

新しい方法による福音の学習と実践を通して主から霊的成長の新たな高みに引き上げていただくのが、わたしたちの大きな願いです。主の助けを受けて、わたしたちは福音を友人に伝えます。それは義務感からではなく、福音が日々の生活の一部になっているからであり、わたしたちは福音の真理がにじみ出てくるのでないかぎり、口を開くことはできません。理想的には、この教会の会員ではない友達がわたしたちの生活に光が増し加わるのを見て、宣教師に見つけてもらう前に自分から宣教師を見つけ、自分

の家族のためにその光を得るようになることでしょう。神殿結婚、家族歴史活動、神権の力と儀式、道徳的な清さ、貧しい人の世話、これらはすべて、日曜日のクラスで適切な助けを常にふんだんに受けながら、日々福音を学んで実践して深く改心したキリストの弟子が受ける祝福です。このような祝福へと、主はわたしたちを導いておられます。これはまさに心ときめく旅です！

わたしたちは「救い主の方法で教える」という言葉を使いますが、これがキャッチフレーズや決まり文句になることが決していないように、とわたしは願います。実際、この言葉で言いたいのは、わたしたちは教師や生徒としてキリストのようになり、キリストがなさった方法で福音を分かち合うように努める必要が

わたしは証します。
わたしたちが
主の御心を学び、
光と真理を集めて
日々
それを自分の
一部とするとき、
その光は
わたしたちの中で
明るさを増します。



あるということです。これは弟子たちに加わり、イエスとともに大通りや小道を行って、迷い出た人を探すチャンスです。至福の教えが説かれた山に群衆とともに登り、ガリラヤの海辺で群衆とともに座るチャンスです。わたしたち皆が主の衣の裾に触って癒されるチャンスです。

エライザ・R・スノーがペンを執って書いた教会の最も感動的な賛美歌の一つの歌詞が、わたしは大好きです。

光と命の
道を示し
主は神のもとへ
導きます⁷

兄弟姉妹の皆さん、天の御父が用意しておられる輝かしい未来に向かって皆さんとともに歩んで行けることを、わたしは光榮に思います。わたしには皆さんの心が分かります。皆さんが主を愛し、主の御心を行いたいと望んでいることを、わたしは知っています。わたしは証します。わたしたちが主の御心を学び、光と真理を集めて日々それを自分の一部とすると、その光はわたしたちの中で明るさを増し、「ますます輝きを増してついには真昼となります。」(教義と聖約 50:24。強調付加) そのときにわたしたちは主とともにいることができます。わたしたちが主のような者になるからです。■

注

- 1.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』135
- 2.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』221, 268
- 3.ラッセル・M・ネルソン「イエス・キリスト——偉大な癒し主」『リアホナ』2005年11月号, 86 参照
- 4.ダリン・H・オークス「主の望まれる者になるというチャレンジ」『リアホナ』2001年1月号, 40–43 参照。デビッド・A・ペドナー「主に帰依する」『リアホナ』2012年11月号, 106–109 も参照
- 5.『手引き 第2部——教会の管理運営』1.4 参照
- 6.ヘンリー・B・アイリング「神の家族の集合」『リアホナ』2017年5月号, 20
- 7.「高きに満ちたる」『賛美歌』112 番



新たな洞察がもたらされる

「皆さんが教義の原則について深く考えて祈るとき、聖霊は皆さんの思いと心に告げてくださるでしょう。聖文に描かれている出来事から、新たな洞察がもたらされ、自分の状況に関連した原則があなたの心にしみ込むでしょう。

そのような啓示を伴う経験を深めるには、すでに受けている光に従って生活し、『キリストのもとに来る』ために純粋な動機で誠意をもって聖文を研究することです。そのようにするならば、『神の前において〔皆さんの〕自信は増し、』聖霊は常に皆さんの伴侶となられるでしょう。」

ラッセル・M・ネルソン大管長
『聖文の導きに従って生活する』
『リアホナ』2001年1月号, 21

新しい「わたしに従ってきなさい」の資料を どのように活用すべきか

個人と家族用、日曜学校用、初等協会用の新しい「わたしに従ってきなさい」の資料は、家庭と教会で聖文から学ぶという有意義な経験をしてもらうためにあります。では、この新しい「わたしに従ってきなさい」の資料はどんな仕組みになっているのでしょうか。

- 2019年には新約聖書を学びます。「わたしに従ってきなさい——個人と家族用」では、家庭での個人学習と家族との学習に役立つアイデアを提供しています。どのような形であろうと、あなたに役立つ方法でこの資料を使ってください。
- 毎週、教会のすべての大人と青少年、子供が、新約聖書の同じ章を研究し、それについて話し合います。
- 日曜学校と初等協会の教師は、「わたしに従ってきなさい——個人と家族用」を使って、自分の個人と家族の学習の質を高めてください。また、教師には教師用手引きも渡されますから、それを活用して皆が積極的に参加するクラスを作り、それが生徒たちが家庭で行っている聖文学習に役立つようにしてください。

新しい「わたしに従ってきなさい」の資料に関する詳しい情報は、comefollowme.lds.org をご覧ください。

決断と奇跡 —— やっと分かりました

アイリナ・V・クラッツァー

このシリーズでは、書籍『壇上から —— 末日聖徒の女性による説教の185年』(At the Pulpit: 185 Years of Discourses by Latter-day Saint Women) から抜粋した献身的な女性の生涯とメッセージを特集します。この書籍は、英語、ポルトガル語、スペイン語で読むことができます。

人生のある時点で、わたしは愛とキリストの光を受けました。それ以来、わたしの人生は永遠に変わりました。

わたしは、福音のない生活がどういうものかを知っています。30年間そうして生きていました。わたしはロシアで善い両親のもとに生まれ……大人になると、結婚してかわいい女の赤ちゃんを産みました。間もなく、無事に大学を卒業し、大好きな仕事に就きました。それでも、……わたしは幸せとは程遠い状態でした。

……夫婦関係は次第に破綻していききました。……わたしは、娘と自分のために粗末な食事を用意するのもやっとでした。罪を犯し、次々と誤った選択をしました。飢えと落胆と誤った決断により、わたしの生活は惨めなものになりました。わたしはそれを運が悪い〔せいにして〕、罪から当然生じる様々な結果に苦しんでいることに気づいていませんでした。でも、どうしてそれを知り得たのでしょうか。わたしがそれまで教わってきたことによると、罪は存在しませんでした。……

ソビエト連邦では、1917年の共産革命以来、宗教は禁じられていました。わたし

は幼稚園のころから、神などというものは存在せず、共産党とレーニンおじいちゃんのみがロシア国民に幸福をもたらすと教えられていました。宗教を持つ人々は、わたしたちの社会ではひどく迫害されました。信者は職を失い、学校に通うことを許されず、「狂っている」とのレッテルを貼られました。すべての人が大学で無神論のクラスを取ることを求められました。そのクラスで、わたしたちは神が存在しないことを証明したのです。……わたしは神のことは考えていませんでしたが、自分の誤った選択を思うと心が痛みました。後になって、当時心の痛みを感じていたのは、キリストの光が良心を与えてくれて、善悪の判断ができていたためだと分かりました。……

……人生は、終点に墓があるばかりの暗いトンネルのようなものだと思っていました。わたしはゆっくりと死に近づいてるように感じていました。……祈り方を知らなかったので、夢を見ていました。……人生の惨めなものすべてから逃げ出して、幸福で輝く人生を一からやり直せる日を夢見ていました。娘には、わたしよりも良い人生を送ってほしいと強く望んでいまし



クラッツァー姉妹について

アイリナ・バレンティノブナ・クラッツァー(1965年生まれ)は、シベリアのバルナウルに住んでいました。ここで医学学校に通い、心臓専門医になりました。医師としての仕事は十分な収入を保証するものではありませんでした。病院から何か月間も給与が支払われないこともありました。1996年に虐待をする夫と離婚すると、アイリナは安い賃金で母と娘を養うために夜勤を増やし、疲れ果て、希望を失いました。

アイリナは無神論者の環境で育ち、神を信じていませんでした。ところが、ある晩彼女は思い切ってこのように求めました。「神様、もしいらっしゃるなら教えてください。わたしのことなどどうでもいいのでしょうか。あなたはわたしのことをどう思われているのですか。単に生き延びることに必死な小さな生き物にしか見えないのでしょうか。」

数週間後の1996年8月、アイリナはある男性と出会いました。彼はアイリナに教会を紹介し、アメリカに渡って英語を勉強するのを手伝ってくれました。アメリカのユタ州に到着して8か月後の1998年4月、アイリナはテイ・クラッツァーと結婚しました。

クラッツァー姉妹は、ユタ州オレム市の扶助協会で教師を務めていたときに、ブリガム・ヤング大学で行われる女性集会で話をするよう招かれました。原文〔英語〕では、句読点、大文字は標準用法に修正されています。

た。……

〔そのとき、〕モルモン書がわたしの人生に現れたのです。毎朝、仕事に出かける前に1章ずつ読みました。モルモン書を読むことにより、神が生きておられ、イエスが御子であられ、わたしのような罪人を救うために地上に來られたことを知りました。モルモン書を読めば読むほど、キリストの教えとわたしの生き方との乖離^{かいり}が分かりました。それこそが、わたしの人生が惨めな理由だと分かりました。……

……劇的な変化を遂げる心の準備はできていました。その晩のことはいつまでも忘れないでしょう。……わたしは一晩中泣き続けました。自分の人生が良くなかったこと、自分の誤った選択により最も愛す

る人たちを傷つけてきたことに気づいたのです。人生で最もつらい経験でした。わたしは一晩中、泣きながら懇願しました。夜が明けるころには、疲れ果て、涙もかれ果てていました。朝日が差し込むと、平安と安堵の気持ちがもたらされ、声が聞こえました。「わたしの手はここにある。わたしがあなたを導き、行く手を示す。ただし、あなたは変わると約束しなければならぬ。」わたしはそのとおりにしました。約束したのです。わたしは、この導きと助けを何よりも必要としていました。……

つらさと喜びを味わったロシアでのその晩、キリストの約束がどれほど偉大であるかを知りませんでした。そのときはまだ、間もなくアメリカに渡って福音についてさ

らに学び、バプテスマを受けることになろうとは思いませんでした。娘がアメリカに来て、わたしたちと幸せの再会を果たすとも思っていませんでした。……

……神が多くの奇跡を与えてくださったので、わたしは自分の生活に主の御手が及んでいることを疑う余地はみじんもありませんでした。

キリストとともに歩みましょう！ 主の手にしっかりとつかまりましょう！ 主の御言葉を味わいましょう。主の光を全身全霊で受け止めましょう。困難なときに暗いトンネルの中にほうっておかれることはありません。主の愛の光が常にともにあり、先にはさらに明るい光が待っています。■



「わたしは、有って有る者」

旧約聖書におけるイエス・キリストの象徴

この古代の記録では特に、イエス・キリストを探し求めなければなりません。

そうしないと、見いだすことはできないかもしれません。



モーセが顔を隠したとき、燃える
 しばから発せられる主の慈悲
 深い言葉が、永遠の響きをもっ
 て聞こえたに違いありません。「『わたし
 は、……わたしの民の悩みを、つぶさに見、
 ……わたしは彼らの苦しみを知っている。
 わたしは下って、彼らを……救い出〔す。〕』
 ……」

モーセは神に言った、『わたしがイスラエ
 ルの人々のところへ行って、彼らに「あなた
 がたの先祖の神が、わたしをあなたがたの
 ところへつかわされました」と言うとき、彼
 らが「その名はなんというのですか」とわ
 たしに聞くならば、なんと答えましょうか。』

神はモーセに言われた、『わたしは、
 有って有る者』。また言われた、『イスラエ
 ルの人々にこう言いなさい、『わたしは有
 る』というかたが、わたしをあなたがたの
 ところへつかわされました』と。』(出エジ
 プト3:7-8, 13-14)

古代イスラエルに主なるエホバとして知
 られていた、肉体を受けられる前のイエ
 ス・キリストが、御自ら、民が贖いを求める
 源であると告げられたのです。それから
 数千年後、復活されたイエス・キリストは、
 現代のイスラエルに次の言葉で解放の約
 束を再確認されました。「元気を出しな
 さい。恐れてはならない。主なるわたしは
 あなたがたとともにおり、あなたがたの傍
 らに立つからである。あなたがたは、わた
 し、すなわちイエス・キリストについて、わ
 たしが生ける神の子であること、わたしが
 かつており、今おり、やがて来ることを証
 しなければならない。」(教義と聖約68:
 6。強調付加)

命の言葉である聖文は、あらゆる世代
 の神の子供たちがイエス・キリストに目を
 向けて、罪と死とこの世におけるすべての
 問題から解放されるために与えられていま

す。旧約聖書も例外ではありません。す
 べての聖典と同様、旧約聖書も、わたした
 ちの心と意思をわたしたちの解放者、主な
 るイエス・キリストに向けさせることを目
 的としています。しかし、この古代の記録
 では特に、イエス・キリストを探し求めな
 ければなりません。そうしないと、見いだ
 すことはできないかもしれません。

どの聖典でもキリストについて調べると
 きは、自分が探しているものは何かを絶え
 ず心に留めておくことが助けになります。
 イエス・キリストは命の源です！ 墮落に
 よってもたらされた霊と肉体の死という重
 大な問題に対して、キリストは、イスラエル
 に永遠の解決策をもたらされた御方です。
 リーハイはこう宣言しています。「メシヤ
 は律法の目的を達する〔訳注——英語で
 は answer〕ため、……御自身をささげら
 れる。』(2 ニーファイ2:7。強調付加) そ
 の御方こそが答えなのです。聖典を探し
 求めるとき、わたしたちが探し求めるのは
 イスラエルの贖い主、「わたしは有る」と
 名乗る、その御方御自身です。しかし、旧
 約聖書の詩的な、しばしば古めかしい言
 い回しの中で、永遠の問題—また、その
 解決策であるイエス・キリスト—をいつも
 簡単に理解できるというわけではありません。
 そうであっても、イエス・キリストのこ
 とは表面的な読み方では分からず、古代
 の物語の中から見いだすには時間がかか
 る場合があります。

シナイ山でモーセに告げられた主の御
 名—「わたしは有る者」—を心に留めなが
 ら、イエス・キリストに信頼を寄せる人々に
 にとってイエス・キリストはどのような御方
 であるか、考えてみてください。以下の例
 は、主イエス・キリストに心と意思を向け
 て解放していただくことを目的とした、旧
 約聖書の象徴的な教えです。

旧約聖書の中でイエス・キリストを見いだす

旧約聖書の預言者を含む預言者たちは「メシ
 ヤの予型と影」として見ることでできると、
 十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー
 長老(1915-1985年)は述べています。
 「キリストに似たものを探し求め、それを繰り
 返し思い起こして、キリストとその律法がい
 つも心の中心にあるようにしておくことは、
 きわめて健全で適切なことである。」(*The
 Promised Messiah* [1978], 453)

旧約聖書は、神の聖約の民の歴史物語を
 保存するだけの目的で書かれたものではありません。
 キリストの弟子にとって、物語それ
 自体は、それに伴う表面的なメッセージや教
 訓と併せても、重要性は二次的なものです。
 預言者の書の主要なテーマであり、わたした
 ちの研究の最もふさわしい対象は、イエス・
 キリストです。

旧約聖書でイエス・キリストに関する真理
 を調べるときに心に留めるべき原則の幾つ
 かは、以下のとおりです。

1. 神から人に与えられたすべてのものは、
 イエス・キリストの予型である(2 ニー
 ファイ11:4; モーセ6:63 参照)。
2. すべての預言者は、イエス・キリスト
 の予型、すなわち象徴である(see
 Bruce R. McConkie, *The Promised
 Messiah* [1978], 451)。
3. 悔い改めは、予型によってイエス・キ
 リストについて学ぶための扉を開く(ア
 ルマ26:21-22 参照)。

わたしは……あなたがたのためにほふられた小羊
動物の犠牲と皮の衣



アダムとエバがエデンの園から追い出される前に、主は彼らに動物の皮を着せて、彼らの体を覆われました。旧約聖書には、「贖罪」という言葉が、様々な語形で（英文で）81回出てきます。そのうちの73回は、ヘブライ語の原語が *kaphar* です。それは文字どおり「覆う」という意味です。

園から追放された後、アダムとエバは、主へのささげ物として羊の群れの初子をささげるように命じられ、後に天使から、これは「御父の……独り子の犠牲のひながた」とであると教えられました（モーセ5：7）。

動物の犠牲は、神権の儀式に携わる人々が儀式の衣を着ることと併せて、モーセの律法の下で引き続き行われました。主と聖約し、主の聖なる儀式を受けるとき、わたしたちは主の贖罪に覆われ、もうアダムとエバの完全な影響にさらされることがなくなります。イエス・キリストは実に、わたしたちのために犠牲となられた神の小羊であられます。したがって、わたしたちはもう罪と死の影響を被ることはありません。

創世3：21；37：3；出エジプト40：14－15；エゼキエル16：1－12；マタイ22：11－12；ガラテヤ3：26－29；1ニコライ11：21，32－33；アルマ34：14－16；モーセ5：5－8；7：47

わたしは……命のパン
マナ



モーセとイスラエルの子らは、エジプトから約束の地に向かって旅をしたとき、主の憐れみに頼って日々のパンを得ていました。主はすばらしい「天よりのパン」を彼らに与えられ、人々はそれを「マナ」（訳すと「これはなんだろう」）と呼びました。日々そのパンを集め、そして主と主の預言者に忠実であった人々は、荒野での旅を生き抜くことができました。

イエス・キリストは命のパンです。天から地に降って来られ、わたしたちが現世の旅を日々生きられるようにしてくださいました。わたしたちは、毎日主の御言葉を学ぶならば、現世の旅の最後まで、主の与えてくださる幸福と活力を経験します。

出エジプト16：4，12－21，31；申命8：2－3；ヨハネ6：26－35，48－58，66－68；3ニコライ20：8

わたしは…… 生ける水の源
ホレブの岩から湧き出た水



イスラエルの子らが荒れ野で飲み水に困ったため、モーセが主にお尋ねしたところ、主から与えられた杖でホレブ（シナイ山）の一つの岩を打つように指示されました。モーセが岩を打つと、水が岩から湧き出し、旅をしている数百万のイスラエル人の命をつないでいました。

イエス・キリストはイスラエルの岩です。カルバリで打たれたとき、その体から血が流れ出ました。キリストの血はわたしたちに命を与えます。キリストから生ける水を引き出すための鍵を与えられている預言者たちに従うなら、わたしたちは、キリストの贖いの血によって見いだされる命を得ることができるのです。

出エジプト 17:1-6; 民数 20:8, 11; ヨハネ 4:10-15;
1 コリント 10:1-4; 教義と聖約 28:2

わたしは…… 癒しを与える者
竿にかけられた蛇



イスラエルの子らの旅は困難であったため、彼らは不平を言い、預言者と主に向かってつぶやきました。その結果、主は毒蛇が彼らをかむのを許され、多くの人が死にました。そこでモーセは主に祈って、蛇を取り去ってくださるようお願いしました。しかし主はそうはされず、人々がかまれたときに死を逃れる方法を備えられたのでした。彼らが癒されるために必要な行為は、竿にかけられた青銅の蛇を見上げることでした。

イエス・キリストが十字架に釘で打ちつけられたのは、わたしたちが苦しみの中でイエス・キリストに心を向けるならば苦しみに打ち負かさず、すむようにするためでした。イエス・キリストは必ずしもわたしたちの試練を取り去られるわけではありません。しかし、癒しを与える御方であられるキリストは、贖罪の祝福を通して毒を取り去ってくださいます。

民数 21:4-9; ヨハネ 3:14-16; 1 ペテロ 2:24; アルマ 33:18-22; ヒラマン 8:14-15; 3 ニーファイ 27:13-15

1つの赤い電球

ローリー・リース

とてもシンプルなクリスマスツリーの装飾品が、
クリスマスのほんとうの意味を思い出させてくれました。

クリスマスは、クリスマスではありませんでした。クリスマスの音楽をかけて明るくしようと努力しながらも、重い気持ちで収納箱を取り出しました。雪だるまの形をしたクッキーの入れ物は、クッキーと一緒に焼く相手がいないことを思い出させました。小さなサンタの置き物は、靴下を飾る意味などもはやないのだと言っているようでした。ペパーミント菓子のようなストライプ模様の包装紙を見詰めながら、興奮した子供たちの声は朝になっても聞こえてこないことを思い出しました。

末の子が今年大学へ進学し、家の中はひっそりと寂しくなっていました。サンタとは関係のない装飾品だけを選び、ほかはすべて箱に戻しました。

夫が町の外へ出かけていたので、ツリーの飾り付けを一人でした。義理の娘がインターネット上に掲載した、孫がツリーの飾り付けをしている画像を見ながら、わたしは遠い昔を懐かしみました。どうしてこんなに早く時が過ぎ去ってしまったのでしょうか。どうして子供たちはこんなにも早く成長してしまったのでしょうか。物思いにふけていると、ふと手の中の小さな電球に目が止まりました。それは、赤い電球でした。



色をよく見てみると、とても深みのある赤で、真紅色でした。手もとに残した簡素な装飾品を見渡しました。キリスト降誕の場面に関連したものが少々、アイスクャンディーの棒で作った飼い葉おけ、そして金の文字で「NOEL〔訳注——「クリスマス」の意味〕」と書かれた飾り。目が涙で濡れました。電球は、救い主の贖いの血のような赤い色をしていました。

わたしは今まで、飾りや、型抜きクッキー、そしてクリスマスの朝に響く子供たちの歓声こそが、クリスマスの時期にわた

しを幸せにしてくれるものだと考えてきましたが、ふと子供たちと彼らの永遠の家族のことを考えました。わたしが家族から得られた喜びや、子供たちがそれぞれの家庭で得ている喜びのことを考えました。飼い葉おけに眠る幼子がそれらを可能にしたのです。わたしだけではなく、全人類に与えられた救い主という贈り物に思いをはせていると、心にじんわりとしたぬくもりを感じました。

「御使は言った、『恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、あなたがたに伝える。』」（ルカ2：10。強調付加）

ツリーの飾り付けをしながら、わたしはイエス・キリストのつつましい誕生と生涯について思い巡らしました。主は傷ついた者を癒し、虐げられた者を奮い立たせ、孤独な者を慰め、不完全な者に平安をもたらし、苦しむ者に哀れみをかけるために来られたのです。わたしたちが御父の王国で再び主とともに住めるように、主は生まれ、死なれたのです。人がほんとうの幸福を知ることができるようにと、おいでになったのです。胸がいっぱいになり、キリストに喜びを見いだしました。なぜなら、キリストこそがクリスマスだからです。■

筆者はアメリカ合衆国オレゴン州在住です。

奉仕から得られる成長

ジョウバイヤン ジョウシエンメイファ
周伯彦と周洗美華

奉仕によって成長できるように、わたしたちは支部の新会員がすぐに召しを与えられるべきであると感じました。



2001年12月台湾台北神殿での高雄第7支部

わたしたちは、2000年に台湾高雄ステークの最も小さい支部の支部会長として、また初等協会の会長として奉仕するように召されました。聖餐会の出席人数は、若い家族や4人の活発な長老と宣教師を含む約20名ほどでした。その後、主がわたしたちの支部を栄えさせてくださると信じ、二人の長老を伝道に送り出しました。

支部で奉仕しているとき、すべての改宗者は「友人、責任、『神の善い言葉で養う』」必要があるというゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910－2008年）の勧告を思い出しました。¹ 奉仕によって成長できるように、支部の新会員がすぐに召しを与えられるべきであると感じたのです。宣教師は求道者をわたしたちに紹介し、彼らはバプテスマ後2週間以内に責任を受けました。彼らはほかの会員たちとともに奉仕しながら友情を育みました。

新たにバプテスマを受けたすべての兄弟たちは、1か月以内にアロン神権を受け、聖餐を祝福し、パスをしました。さらに、次のステーク大会までにメルキゼデク神権

を受けられるように彼らを備えました。

新しい長老たちは儀式をどのように行うかを教えられ、その後、彼らはもっと新しい長老たちに教えました。わたしたちは実行から学んだことを信じ、教えることから学んだことを心に留めました。支部の会員たちには、模範を示し、相談相手となり、教え、訓練し、そして互いに支え合う責任がありました。

わたしたちはホームティーチャーや家庭訪問教師、家庭の夕べ、ワードの活動や持ち寄り食事会などを通して新しい改宗者をフェローシップしました。新会員は日曜日と週日の宗教教育を通して神の言葉により養われました。インスティテュートの生徒は2人から25人に増えました。わたしたちの小さな支部をさらに養うために、わたしたちは毎月バスで往復10時間かけて台湾台北神殿に参入し、奉仕しました。通常ステークは、神殿に行く2台目のバスの空席を埋めるのに苦労していました。支部が大きくなり、幾つもの家族が神殿の祝福に備えたので、わたしたちは自分たちのバスをいっぱいにするための目標を設

定しました。最初の年には2回の神殿訪問で、ステークのほかのユニットが神殿に行く1台目のバスを満席にしたのに対し、2台目はわたしたちの小さな支部だけで満席になりました。それから間もなくして、ステークはそれぞれのワードが少なくとも1年に1度は神殿用のバスを満席にするようにチャレンジしました。

2年目までに、わたしたちの改宗者の定着率は30パーセントから90パーセント以上に増え、聖餐会の出席は100人ほどになり、そこには活発な長老が25人含まれていました。支部はワードになり、古い教会堂は新しい礼拝堂に改装されました。

最も小さい支部はステーク内で一番強いワードになりました。これはすべての改宗者が友人、召し、神の言葉で養われてきたからです。■

著者はともにアメリカ合衆国ユタ州在住です。

注

1. ゴードン・B・ヒンクレー「改宗者と若い男性について」『聖徒の道』1997年7月号, 56

甘いクリスマス

記 憶にあるかぎり、わたしの家族はクリスマスを思い出深い出来事にしてくれました。わたしがブラジル・ポルトアレグレ南伝道部に向けて旅立ったとき、家族から離れて初めてのクリスマスを過ごすのが、どれほどつらいものになるかを理解していませんでした。

伝道地の最初のクリスマスの間、家族と一緒に過ごしたいと思いましたが、同僚とわたしは孤独でした。自己憐憫れんぴんと悲しい気持ちに捕らわれていました。

クリスマスイブに、親戚な家族が同僚とわたしを夕食に招いてくれました。わたしたちはすてきな夜を過ごしましたが、この家族の幸せそうな姿を見ると、遠く離れた自分の家族を思い出すばかりでした。その晩、帰宅してからわたしは明日がクリスマスだということを眠って忘れようとしていました。人生で初めて、クリスマスが過ぎ去ってよかったと思いました。

1年後、わたしは前年のクリスマスのことを思い出し、伝道地でもっと良いクリスマスを過ごすには自分に何ができるか考えました。前の年に悲しく感じたのは、救い主ではなく、自分に目を向けていたからだということに気づきました。またクリスマスは救い主の誕生を思い出すときであり、自分は主を代表して主に仕えることを

幸せに思うべきだということも分かりました。

同僚と相談してロリポップ〔訳注 —— 棒つきキャンディー〕を買って、クリスマスの日に会う会員、求道者、子供を問わずだれにでも配ることにしました。また、クリスマスの賛美歌を歌えるように練習しました。クリスマスの日に人々に来て、賛美歌を歌い、ロリポップを配ると心に喜びがあふれました。

その晩家に帰るとき、歩道に座っている年配の男性に会いました。わたしたちは彼にその日クリスマスプレゼントをもらったか尋ねました。彼はもらった、と言いました。遠くに住む子供たちと電話で話したと言うのです。

「あなたに差し上げるプレゼントがもう一つありますよ」とわたしたちは言いながら、彼にロリポップを渡しました。

「これは口だけでなく、わたしの心も甘くしてくれるよ」と彼は言いました。

わたしは自分のことばかり考えていたので、伝道に出て最悪のクリスマスを過ごしました。その代わりに救い主に目を向けると、最高のクリスマスになりました。主に心を向けるとき、主はクリスマスだけでなく毎日を甘いものにしてくださいます。■

ウィルソン・コレイア・ドス・サントス
(ブラジル、ペルナンブコ州)



伝 道地でさらによい
クリスマスを過ごす
ために、同僚とわたしは
ロリポップを買って、
クリスマスの日に会う人々に
配ることに決めました。



その男性と話してみたくまりました。
近づいて手を差し出しながら、
名前を聞いてみました。

「わたしにしたのである」

わたしの家族にはクリスマスに伝統があります。食べ物、手袋、帽子、そのほか生活必需品を詰めたギフトバッグを、助けが必要な人に配るのです。2016年のクリスマス、わたしたちの住むアメリカ合衆国カリフォルニア州地域は特に厳しい寒さに見舞われました。厚着をしてもまだ震えたぐらいです。

家の近くの公園には多くのホームレスがいて、そこに車で向かう途中、バス停の小さな待合所の中で毛布にくるまってかがみ込んでいる男性を見かけました。夫のデニス車を止め、息子のジョナサンを連れてその男性にギフトバッグを渡しに行きました。わたしは娘のabeeと一緒に車に残り、見守っていました。

デニスがバッグを手渡すと、男性は顔を上げました。男性は満面に笑みを浮かべました。二人は握手をし、話し始めまし

た。これは珍しいことで、普段はそれほどやり取りすることはないのです。

数分後、デニスは車に戻ると、トランクを開けました。

「大丈夫なの？」と尋ねると、

「大丈夫だよ」と夫は答えました。「ほくのパーカーを上げようと思って。ほくよりもあの人に必要だからね。」

わたしは言葉を失いました。それはとても良いパーカーで、デニスはまだ数回しか着ていなかったのです。デニスは男性のところに戻ると、その暖かいパーカーを着せました。男性の顔は喜びに満ちていました。デニスと男性はそのまま話し込んでいました。

わたしもその人と話してみたくまりました。車のドアを開けると、abeeもついて来ました。近づく、デニスはほほえみながら男性にわたしたちを紹介しました。わ

たしは手を差し出しながら、名前を聞いてみました。

男性はわたしの手を取り、温かくほほえむと、「ヘススです」と答えました。

その後も家族は会話を続けましたが、わたしの耳にはあまり入ってきませんでした。わたしはずっとこの優しい男性の名前の意味を考えていました。「ヘスス」は英語読みで「ジーザス」、わたしたちの救い主イエスの名前です。一瞬のうちに、わたしは救い主の教えを思い出しました。「わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。」(マタイ 25:40) この経験は、わたしを永遠に変えました。■

シャノン・ナイト
(アメリカ合衆国、カリフォルニア州)

わたしは白杖を包んで、神権の祝福を
してくれた兄弟にクリスマスの
プレゼントとして差し上げました。



わたしたちはともに祝福されました

トラックがわたしの自転車に追突したことで、わたしは半盲になりました。それから4年と少したった2011年のクリスマスの季節に、わたしは前のワードで知り合った兄弟に神権の祝福を頼むようにという促しを感じました。この兄弟には時々会っただけだったので、なぜ彼に頼むべきなのかは理解できませんでした。それよりもお願いできるふさわしい神権者がほかにいることをわたしは知っていました。

その後の数週間、自分に祝福が必要だという思いは次第に強くなりました。わたしはドイツ・フランクフルト神殿の神殿ワーカーとして奉仕していたので、そこで奉仕している兄弟の一人に祝福を頼むことにしました。

この決意をした後、自分が祝福を依頼すべきだと感じた兄弟が神殿に入って来ました。わたしはこれが偶然ではないことがすぐに分かりました。天の御父はわたしが特にこの兄弟に依頼することを望んでおられたのです。彼が儀式を終えた後、

わたしは勇気を振り絞って、話をしたいと言いました。彼は同意してくれました。

その後、自分でもなぜか分からないけれども、彼から祝福を受ける必要があると感じたことを説明しました。彼は喜んで力になりますと言いました。彼はもう一人の兄弟を部屋に招き入れ、わたしに祝福を授け始めました。祝福を終えると、わたしは混乱していました。祝福は良かったのですが、それについて際立って特別なものは何もなかったからです。

それからわたしは目を開きました。

目を開けると、部屋全体がほとんどはつきりと見えました。信じられませんでした。わたしは、その兄弟がなぜこの祝福をわたしにする必要があったのか知っていたか尋ねました。彼の答えを聞いてわたしは謙遜になりました。

「この祝福はあなたのためだけではないと思います」と彼は言いました。「わたしにとっても祝福でした。明日、わたしは、^{めい}姪に祝福を授けることになっています。彼

女がバプテスマを受けるからです。わたしたちの家族は教会に活発ではなく、ここ約20年でバプテスマを受けるのは彼女が初めてなのです。家族の多くがバプテスマ会に出席しますが、わたしは彼女に祝福を授けるだけの強い信仰が自分にあるか心配でした。今、自分にはできることが分かりました。」

それから日々わたしの視力は良くなり、白杖がもう必要ではなくなりました。わたしは白杖を包んで、手紙とともにこの兄弟にクリスマスの贈り物として差し上げました。「これはモーセのものとは違いますが、これを見るときにあなたが持っている神権の力を思い出してくれますように」とわたしは書きました。

天の御父はわたしたちを愛し、とても喜んで祝福してくださいます。このクリスマスの祝福は、わたしの視力を回復してくれただけでなく、謙遜な神権者に自分の神権の奉仕に対する確信を与えたのです。■

アンナ・フィンガール（ドイツ、ヘッセ）

モルモン書 —— 特別な贈り物

夫とわたしがフィリピン・マニラ神殿の神殿宣教師として奉仕していた2016年のクリスマスに、わたしはモルモン書をだれかにプレゼントしたいと思いました。わたしはモルモン書の表紙の裏に自分の証を書きました。そして教会についてもっと詳しく知ることができる場所の情報を記した、マニラ神殿の絵葉書を挟みました。それからひざまずいて、主が備えられた人のところに導いてくださるように祈り求めました。

わたしはアパートを出て、道路を渡りました。近くにある宣教師訓練センターの警備員の所に二人の男性が訪ねて来ていました。警備員は「メリークリスマス!」と呼びかけてくれました。わたしは彼らの方に行くべきだと感じました。

わたしが自己紹介すると、一人は宣教師訓練センターの管理人で、もう一人は農家の人だと分かりました。わたしは二人とも教会員だということを知りました。

クリスマスの贈り物としてモルモン書に興味がある人をだれか知らないかと尋ねました。農家の人は驚いたようでした。彼はあと数分で神殿の境内を訪ねて来る友人がいると言いました。彼は友人にモルモン書を渡したかったのですが、まだ手に入れることができていませんでした。わたしは胸がいっぱいになってバッグからモルモン書を取り出し、自分の祈りについて彼らに話し、彼にモルモン

書を渡しました。

わたしたちは皆御霊を感じ、彼は友人がモルモン書を読んで福音を受け入れることを願っているとしました。アパートに戻りながらわたしは主に感謝し、彼の友人が神殿にやって来るという約束が果たされるように祈りました。

15分くらいして、わたしはMTC〔訳注——宣教師訓練センター〕の防犯ゲート詰所から電話をもらいました。彼の友人が到着したとのことでした。わたしはすぐに会いに行きました。その人はあと2日で海に出る商船の船長だったのです。彼はモルモン書を渡してくれたことに感謝し、船に持って行くと言いました。別れを告げる前にわたしは彼の目をまっすぐ見て、「この書物は真実です」と言いました。わたしが話しているとき、御霊はこの真理をわたしに証してくださいました。

そのクリスマスにわたしは特別な贈り物をしました。それは、モルモン書とそれが真実であるという証です。わたしも特別な贈り物を頂きました。それは、主がわたしの祈りに答えられ、福音を分かち合う機会を与えてくださったという祝福です。■

クローデット・バイビー・バート
(アメリカ合衆国、ワシントン州)

船長はモルモン書を渡してくれたことに感謝し、船に持って行くと言いました。

イラスト/エバ・バスクス





中央若い男性会長会第二顧問
M・ジョセフ・ブラフ

大きな決断

をするときの静かで細い声

ふさわしければ、
天の御父は皆さんに
警告を与え、
大きな過ちを犯さないように
助けてくださいます。

20 11年の秋、新任の伝道部会長だったわたしは、宣教師とともに伝道することに心を躍らせていました。妻のエミリーとわたしは、アパートを点検しながら伝道部のすべての宣教師の同僚組を訪問することにしました。

グアテマラ市からソローラという遠隔地にあるソーンに向かっていると、デモ隊が道の前方を遮っていることを知りました。グアテマラのデモは何時間も続くことがあり、通常そこを通り抜けることは不可能です。そこで、回り道がないか尋ねてみると、別の道があることが分かりました。でも、次のように警告されました。

- 道はあまりよくない。
- 暗くなったら、絶対にこの道を通ってはいけない。
- 盗賊が頻繁に出没する。

熱心な新任伝道部会長夫妻ならだれでもそうだと思いますが、妻とわたしはその道に行くことにしました。しばらく運転して行くと、砂利道の前方が急勾配の下り坂になっているよう

に見える場所に差しかかりました。カメラを出して坂のてっぺんから下る様子を写真に撮るべきよ、とエミリーが冗談を言いました。

何年も前、わたしがグアテマラで若い宣教師だったとき、小枝が道路を横切るように置かれていたら、それは「注意して進め」という意味であることを学びました。「止まれ」の意味もあったかもしれません。枝が目に入っていたのに、わたしはその意味に気づきませんでした。

次の瞬間、わたしたちの車は、橋が流された後に残った高さ6メートルの岩棚から半分落ちかかっていた。わたしは何とか車から這い出ましたが、エミリーは助手席のドアを開けることができませんでした。エミリーが運転席に移ってドアから出ようとしたとき、車が揺れ出しました。どうみても、非常に憂慮すべき事態でした。

様々な思いがわたしの脳裏を駆け巡りました。「新任伝道部会長の車、





橋のない土手から落下、妻が重体」とか「新任伝道部会長夫妻、危険な道路で強盗に遭い、行方不明」といった大見出しが目につきました。

どうしてよいか分からず、車の外でわずかの時間沈黙し、天の御父にこう嘆願しました。「わたしの不注意の結果ですが、どうか助けてください。」すると、突然、バナナを運ぶ大きなトラックがわたしたちの後ろで止まったのです。信じられますか。運転手と同乗者たちはわたしたちを見ると降りて来て、ばかなアメリカ人が窮地に陥っている様子を笑って楽しんでいました。そして、道路に枝が置いてあるだろうと指摘しました。それは、文字どおり、細い小枝でした。

それから、奇跡的な祝福がありました。彼らは、わたしが3年間グアテマラで奉仕していて一度も見たことなかったチェーンをトラックから取り出したのです。彼らはそこを去る前に、1本の木を切り倒して引きずっていき、道路を遮るように置きました。次に来る北アメリカ人が、同じ間違いを犯さないようにしたかったのだと思います。

促しと警告に従う

わたしがこの出来事について話したのは、主の声によって与えられる警告、促し、指示には、その強弱にかかわらず、従わなければならないことを強調したかったからです。主の声は様々な形でやって来ます。聖文、戒め、聖霊からのささやき、生ける預言者の言葉、親や教会指導者や良い友人からの助言などです。わたしたちはこれらの促しや警告に耳を傾け、従っているのでしょうか。そうすることはなぜ大切なのでしょう。

箴言にはこう記されています。

「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。

すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

自分を見て賢いと思っはならない、主を恐れて、悪を離れよ。」(箴言 3：5－7)

わたしたちは心の底から主を信頼しなければなりません。わたしたちの知識は、自分や人にとって何が最善かを知るには不十分であることを理解しなければなりません。主を信頼するなら主がわたしたちの行く手を導いてくださる、という素晴らしい約束を主はわたしたちに下さっています。

わたしの家族には、わたしたちの伝道の重要な部分となった言葉があります。ラッセル・M・ネルソン大管長が同じ概念を教え始めてからしばらくたちます。ネルソン大管長はこう言っています。「従順は成功をもたらし、完全な従順は奇跡をもたらす。」¹

わたしの家族と伝道部のために作った言葉はこうです。「従順は祝福をもたらし、完全な従順は奇跡をもたらす。」

「完全な従順」の意味を完全に理解し



ているわけではありませんが、わたしが理解するに至ったことは次のとおりです。それは、今ここですべてにおいて完全に従順であるという意味ではなく、主の戒めの多くに従うことにおいて完全になれるということです。だからこそ、悔い改めが「完全な従順」のきわめて重要な部分でなければならないのです。「完全な従順」には、天の御父が与えておられるすべての警告、促し、戒めに対する固い決意が必要です。

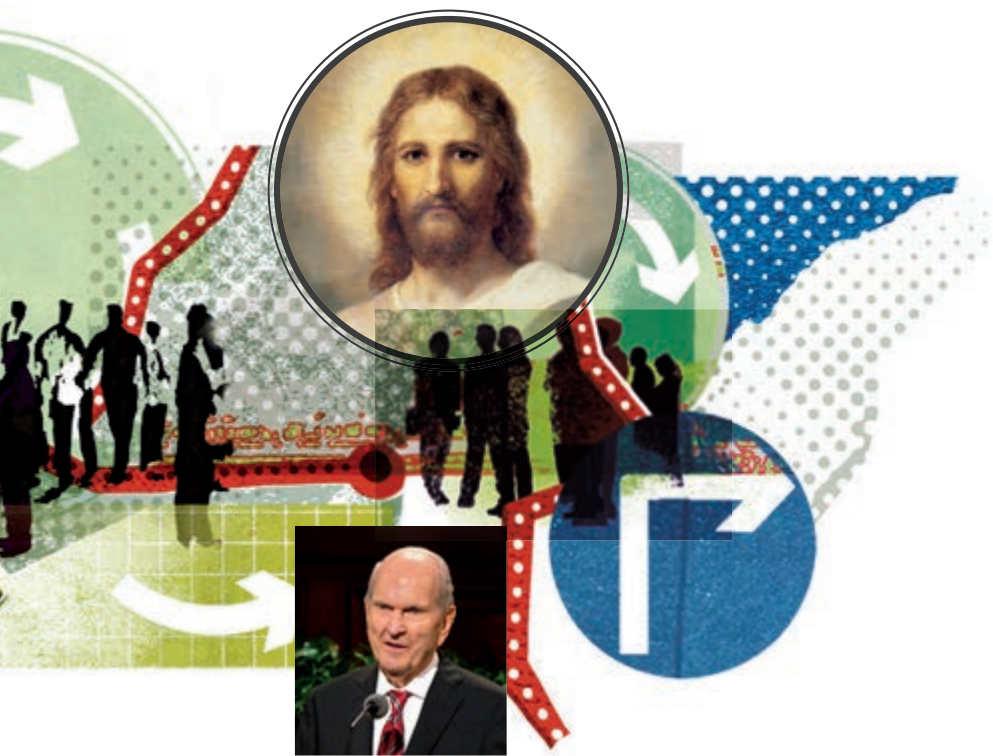
わたしたちは時々、天の御父がなぜあることを求められるのか、その理由が分からないことがあります。そういうときは、完全に従順になることがとても難しいかもしれません。すべての者の中で最も偉大な者の一人であるアダムが、なぜ犠牲をささげるのかと問われたときのことを思い出してください。「多くの日の後、主の天使がアダムに現れて言った。『あなたはなぜ主に犠牲をささげるのか。』そこで、アダムは彼に答

えた。『わたしには分かりません。ただ、主がわたしに命じられたのです。』」(モーセ 5：6)

預言者に従う

エミリーは、理解していないときでさえも完全に従うという素晴らしい模範を示してきました。2007年10月の総大会で、エミリーはゴードン・B・ヒンクレイ大管長(1910－2008年)の次の勧告を耳にしました。「わたしたちは入れ墨を入れることに反対します。また『医療上の目的のほか、体に穴を開けること』にも反対します。しかしながら『女性が1組のイヤリングを着けるために、耳に最小限の穴を開けること』は問題ではありません。」²

妻は家に帰ると、どのようなことでも預言者に従うことの大切さを次女に説明しました。話しながら、彼女も従順さを示しました。エミリーは2組目のイヤリングを外し、それを最後に2組のイ



ヤリングを着けることをきっぱりやめたのです。エミリーは今もその勧告の理由を理解していないと思いますが、彼女にとってそれは大切ではないことをわたしは知っています。

そのような小さなことは重要ではないと思う人がいるかもしれません。そのような考えもあるでしょう。しかし、主は、「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめで大切と思えるものを守るべきである」と言われたのではありません（ヨハネ 14：15 参照）。

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしたちが常に従わなければならない明確な警告の声は、主が選ばれた使徒と預言者から与えられます。中には、ヒンクレー大管長が勧めた小さなことのように、世の標準からすると人気のないものもあるかもしれません。しかし皆さんは、それが天の御父から来たものであると信じてことができますし、信じなければなりません。それはほんの小さな枝かも

しれませんし、引きずられ、道路を遮って置かれた1本の木かもしれません。「主はわたしの道にどのような小枝や木を置かれたのだろうか。」そう考えながら、総大会の話を読んだり、聞いたりするように強くお勧めします。

主を信頼する

皆さんの中には、こう考えている人がいるかもしれません。「なるほど、それはすばらしいですね。でも、促しや主からの勧告、警告、指示を求めているのに、どうしても答えが得られないようなときはどうすればいいのですか。」

人生で大切な決断をするときに、そのような心配をすることがあるかもしれません。心の底から主を信頼すると約束したことを思い出してください。主は必ずあなたの行く手を導いてくださいます。

人生において大切な出来事があるとき、わたしたちは明確な導きを望みます

が、それを見いだすのは困難かもしれません。しかし、わたしはこう理解するようになりました。もしわたしが悔い改めて完全に従順になり、指導者に従い、そのほかにも良い選択をするなら、言葉を変えて言うなら、もしわたしがふさわしいなら、天の御父はわたしに警告を与え、大きな過ちを犯さないように助けてくださると。天の御父は皆さんにも同じようにしてくださいます。

若い友人の皆さん、もしわたしたちが利用可能なすべてのリソースから天の御父の警告、促し、そして啓示を求め、そしてそれらに従って行動するなら、天の御父はわたしたちが大きな犠牲を伴う過ちを犯さないように守ってくださいます。わたしたちには、いつも、そして特に人生のきわめて重要な場面において、聖霊がともにいてくださるという権利があります。

天の御父が行く手に置かれる警告の小枝や木を皆さんが首尾よく見つけることができるよう願っています。

主の声に従うとき、また多くの源から届く御声を受けて完全に従順であろうと努力するとき、わたしたちは「末永く幸せに暮らした」という言葉どおりに人生を終えることができることを証します。それはキリストの教義に従って生活し、神聖な聖約を交わして守ることによってのみ実現できるのです。■

2017年10月17日にスリガム・ヤング大学アイダホ校のディポーショナルで行われた説教“*Heeding the Voice of the Lord*”（「主の声に従う」）から。

注

1. R・スコット・ロイドによるラッセル・M・ネルソン，“Elder Nelson Delivers Spiritual Thanksgiving Feast to MTCs,” 2013年12月4日, LDS.org のチャーチニュースの部 news.lds.org
2. ゴードン・B・ヒンクレー「あなたの子らの平安は深い。」『リアホナ』2001年1月号, 67 - 68

2018年6月1日、
1978年に与えられた
神権に関する啓示の
40周年を記念した説教
「一つとなる」から。

一つとなる



大管長会第一顧問
ダリン・H・
オックス管長

祝う意義

そのときすでに成人だった末日聖徒にとって、1978年の神権に関する啓示は、記憶に刻まれる出来事でした。

I.

その知らせはめったに鳴らない電話で届きました。わたしは、ブリガム・ヤング大学の学長という重い責任から離れるために、二人の息子と建てた山の家の庭仕事をしていました。電話をかけてきたのは、ボイド・K・パッカー長老でした。彼は発表されたばかりの、神権に関する啓示について伝えてくれました。わたしたちは喜び合い、そしてわたしは仕事に戻りました。動かした土の山の上に座り、わたしは息子たちを招き寄せました。わたしは彼らに、教会のすべてのふさわしい男性会員が神権を受けられると話しながら、喜びの涙を流しました。

なぜこの神権に関する啓示がそのような喜びの機会となったのでしょうか。若いころ、法律を研究しその分野で仕事をしていたわたしは、合衆国中西部と東部に17年間住みました。これらの制約〔訳注——1978年6月以前、アフリカ系黒人の子孫以外のふさわしい男性会員のみが神権に聖任されていた〕に苦しむ人々、そして彼らを目にする人々、批判する人々、この制約の理由を探そうとした人々が経験した痛みと葛藤を目にし、共有してきました。わたしは理由を研究しましたが、いずれについても真実であるという確信を得られませんでした。祈りを込めた研究の一部としてわたしが学んだことは、一般に主は僕に与えられる戒めや指示についての理由をめったに与えられないということでした。わたしは預言者に忠実であろうと決心し、これらの制約の初めから約束されているように、皆が神権と神殿の祝福にあずかる時が来るという約束について祈ろうと決めました。そして1978年6月8日、その日が来たのです。わたしは喜びの涙を流しました。



Ⅱ.

1978年に末日聖徒イエス・キリスト教会と会員の生活に何が起こり、そしてそれ以来何が起こり続けているのかを考えると、わたしたち皆に喜ぶ理由があります。

教会は組織として、神権に関する啓示に素早く対応しました。聖任と神殿の推薦はすぐに行われました。アフリカ系教会員に対するそれまでの制約を説明しようと与えられた理由は、そ

れがたとえ尊敬される教会指導者によって説かれたものであっても、速やかかつ公然と否定されました。主は預言者を通して話され、主の教会は従いました。

対照的に、個々の教会員の心と行いの変化は、素早く全体に行き渡ったわけではありませんでした。啓示の影響をすぐに感謝して受け入れた人々、徐々に受け入れた人々、そして個人の生活において、過去40年間を含

め、世界中でほんとうに多くの人々にとってつらい人種差別行動が続けた人々もいました。今では時代に合わない制約の理由を含め、過去を見直すことに注意を払い、振り返ろうとする人々もいました。しかし、中央幹部を含め教会員のほとんどが、過去の失望ではなく未来にある機会に目を向けました。ほとんどの会員が主の知恵と時機を信頼して預言者の指示を受け入れました。そうするときに、わたしたちは「神の目には、人は皆等しく貴い存在である」(モルモン書ヤコブ2:21)という主の預言的な教えの永遠の重要性に気がつきました。そして、永遠の福音を「すべての国民、部族、国語の民、民族」(教義と聖約42:58)に教えるようにという主イエス・キリストの戒めを成就する新しい推進力を受けたのです。

Ⅲ.

啓示されていないことや限られた理解の下で指導していた人による過去の説明に関心を寄せることは、憶測と失望を生み出す結果にしかありません。そのような心配がある人に対して、わたしたちは愛とこの特別な招きを差し伸べます。信仰の一致において将来に目を向け、「主は、御自分のもとに来て主の慈しみにあずかるように、すべての人を招かれる。したがって主は、黒人も白人も、束縛された者も自由な者も、男も女も、主のもとに来る者を決して拒まれない」(2ニーファイ26:33)という主の約束を信頼しようではありませんか。

将来を見据えるとき、神権に関する啓示の最も大切な影響の一つは、神



「神の目には、
人は皆等しく貴い存在である。」



「わたしたちは……
すべての人々に、
……礼節を求め、
人種間の偏見を
取り除〔く〕
ようと
お招きします。」

の子供たちのいずれの集団に対しても差別的態度をやめるという神の呼びかけです。人種差別は恐らく今日最も身近な偏見の源でしょう。歴史を通して、神の子供たちの多くの集団が民族、文化、国籍、教育、経済状況に基づく偏見によって苦しめられたり、不利益を被ったりしてきました。現在でもそのような状況があります。

神の偉大な計画の知識と責任を帯びた僕として、わたしたちはすべての個人的な偏見を乗り越えて、態度と行動を組織としても個人としても急いで準備する必要があります。ラッセル・M・ネルソン大管長は、最近行われた「全米黒人地位向上協会」(the National Association for the Advancement of Colored People)の役員集会で次のように言いました。「わたしたちはともに、すべての人々、組織、政府機関に、礼節を求め、人種間の偏見を取り除〔く〕ようとのお招きします。」¹

たとえ偏見による態度や習慣を追放しようと一致するときであっても、教会のために、主が求められる神殿に参入するためのふさわしさを目的として、特定の標準を求めることは偏見

ではないことを覚えておくべきです。聖約と戒めに従順であることは、神聖な祝福を享受するために不可欠な条件であると主は言われました。永遠の生命と永遠の家族のための天の条件を抹消しようとするいかなる試みも、「一人も失われない」としたサタンの計画を確立しようとするようなものです。わたしたち人間はすでに前世でサタンの計画を拒みました。選択する自由があり、すべての人に等しく当てはまる永遠の聖約と戒めを守る、天の御父の計画を選択したのです。神の平等は、すべての人に同じ結果をもたらしますが、すべての人に等しい機会を与えるものです。

IV.

この記念プログラムにおけるわたしたちの決意は、神権に関する啓示の40周年を将来に目を向けながら祝うということです。そうするときに、すばらしいアフリカ系会員、特に偏見が残る困難な移行時期にも信仰と忠実さを貫いたアフリカ系アメリカ人会員に特別な感謝を表したいと思います。今やわたしたちはともに、世界中の神の

子供たちを祝福することにおいて、1978年以降の壮大な啓示の影響に注意を集中させています。当時の預言者である指導者たちはこう宣言しました。

「主の権能を与えられた僕たちの声に聞き従い、福音のあらゆる祝福を受けようと自らを備える、全地の主の子らすべてに祝福をもたらすために、主は今やその御心を知らせてくださいました。」²

現在、幕の両側にいる神の子供たちを祝福するため、多くの国に神殿が建てられています。地上でも天でも、

わたしたちはともに喜んでいきます。このことは、主の再臨の備えの一部なのです。モルモン書の預言者は「主は、御自分の救いにあずかつてはならないと、だれにも命じられることはない」（2ニーファイ26：24）と、また現代の預言者は「もしもあなたがたが一つでなければ、あなたがたはわたしのものではない」（教義と聖約38：27）と宣言しています。■

注

1.「大管長会とNAACP指導者らが礼節と人種間の調和を求める」2018年5月17日、

mormonnewsroom.org

2. 公式の宣言二



「もしも
あなたがたが
一つでなければ、
あなたがたは
わたしのもの
ではない。」

橋を架ける

ラッセル・M・ネルソン大管長

何世紀も前、厳格な律法学者が救い主に尋ねました。

「『先生、律法の中で、どのいましめがいちばん大切なのですか。』」

イエスは言われた、『心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ。』

これがいちばん大切な、第一のいましめである。

第二もこれと同様である、「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ。」

これらの二つのいましめに、律法全体と預言者たちが、かかっている。』¹

1831年、再びこの指示は、主が「各人がそれぞれ自分の兄弟を自分自身のように尊び、わたしの前で徳高く聖くあるようにしなさい」と言われたときに預言者ジョセフ・スミスに明らかにされました。

そして強調する目的で、主はこう付け加えられました。「また重ねて、あなたがたに言う。各人がそれぞれ自分の兄弟を自分自身のように尊びなさい。」²

時の満ちるとき、つまり末日に、主は主の子らが平等な機会を持つという重要な教義を強調されました。そして、オークス管長がモルモン書のこの教えを思い起こさせてくれました。「主は、黒人も白人も、束縛された者も自由な者も、男も女も、主のもとに来る者を決して拒まれない。……すべての人が神にとって等しい存在なのである。」³

あらゆる大陸と海の島々で、忠実な人々が末日聖徒イエス・キリスト教会に集められています。忠実な人が聖約の道に入り、愛する贖い主のもとに来ると、文化、言語、性別、人種、国籍の違いは問題ではなくなります。

結局、神の真の父性について理解するときのみに、男性の真の兄弟愛と女性の真の姉妹愛を十分に認識できるということに気がつきます。そのように理解すれば、「差別の壁」ではなく「協力の橋」を築きたいと心からの望みを持つよう靈感を受けます。

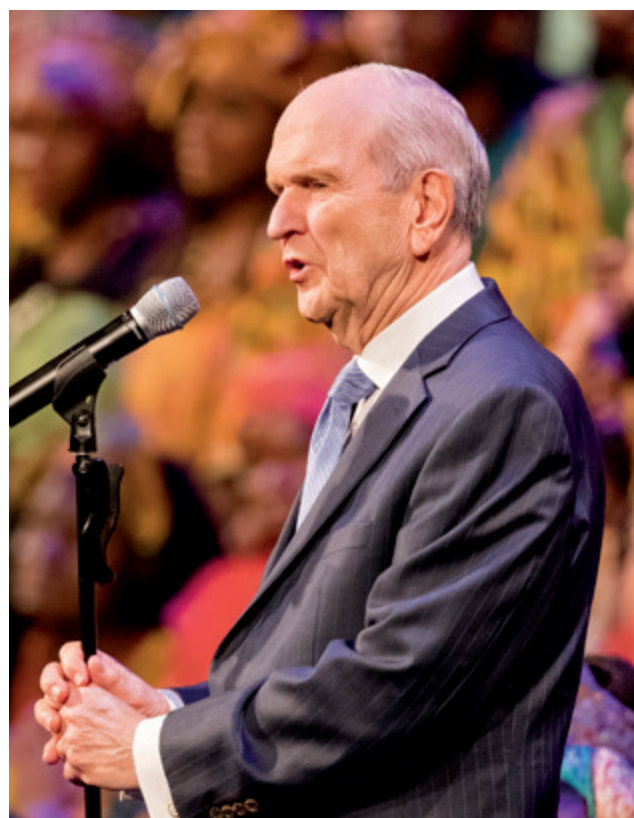
これを聞いているすべての人のうえに、わたしの祈りと祝福を残します。どんな偏見の重荷も克服でき、完全な平安と調和の中で、互いに、神とともにまっすぐに歩めますように。■

注

1. マタイ 22:36 - 40

2. 教義と聖約 38:24 - 25

3.2 ニーファイ 26:33



「黒人も白人も、
束縛された者も自由な者も、
男も女も……
すべての人が神にとって
等しい存在なのである。」



ミニスタリング

救い主のように行う

人を助けようと最善を尽くすとき、
救い主は愛と思いやりをもって彼らを見られるよう、
あなたの目を開いてくださるでしょう。

教会機関誌

エリック・B・マードック

わたしたちは皆、大変な日を過ごしている友人や、学校で一人である人、からかわれている人があるのを知っています。ワードや支部でだれかが大変な試練を受けていると聞いたことがあるかもしれません。このようなとき何ができるでしょうか。

どのように助けられるか知るのが難しい時もあるでしょう。ほかのだれかが行動を起こすのを待つ方がずいぶん簡単に思えますが、あなたにできることがたくさんあります。あなたが気にかけていることを周りに知らせるだけでもよいのです。機会は周りにあり、あなたが愛、関心、興味をほかの人に示すときはいつでも、ミニスタリングをしているのです。

個人的な教導と奉仕の業

ミニスタリング。恐らく最近この言葉を教会でよく聞くことでしょう。これまで、ミニスタリングを行う救い主や預言者や使徒について語られてき

ましたが、あなたが個人的なミニスタリングを行えないか考えたことはありませんか。

ミニスタリングを行うとは、人を愛し、世話をし、救い主が今日わたしたちとともにおられたらなさるであろうことを行うことです。ミニスタリングは、人が天の御父の愛を感じるのを助け、霊的、物質的必要を満たす一つの方法です。

イエスが来られたのは「仕えられるためではなく、仕えるため」(マタイ

ミニスタリングを
行うとは、
愛し、世話することです。

20:28) です。主は「よい働きをしながら……巡回されました。」(使徒 10:38) 主の弟子として、わたしたちは主の模範に従うよう求められています。わたしたちは個人的なミニスタリングを行うことができます。

だからといってミニスタリングを行うために、大きな奉仕プロジェクトを立ち上げる必要はありません。現在十二使徒定員会会長代理の M・ラッセル・バラード会長はこう言いました。「奉仕の機会の中には、家族の中での奉仕や教会の召し、地域社会の奉仕団体への参加など、公式に割り当てられるものもあります。……

〔しかし、〕奉仕する機会の多くは割り当てのない非公式のものであり、人生の旅路で出会う人々に手を差し伸べるときにもたらされるのです。』¹

キリストのようなミニスタリングは、あなたが毎日行う小さくて、真心のこもった行動により度々実現します。

一人ずつ

救い主がニーファイ人に姿を現されたとき、主は皆に、来て主御自身のわきと両手と両足にある傷痕に触れるようにおっしゃいました。「彼らは一人ずつ進み出て、全員がこのようにし〔ました。〕」(3 ニーファイ 11:15;

強調付加)

それから、主は病気の者、傷を負っている者、あるいは「どんなことでも苦しんでいる者」を皆連れて来るよう招き、「御自分のところに連れて来られた者をことごとく癒され〔ました。〕」(3 ニーファイ 17:7, 9. 強調付加) この後、主は「幼い子供たちを一人一人抱いて祝福し、彼らのために御父に祈られ〔まし〕た。」(3 ニーファイ 17:21. 強調付加)

イエスが個人に示された
愛を示すことが、
ミニスタリングの目的です。

これは少人数のグループではありませんでした。聖典には約 2,500 人の人々がそこにいとあります (3 ニーファイ 17:25 参照)。救い主はそれでも、時間を使って、癒し、慰め、励まし、それぞれに愛を示されました。

十二使徒定員会のロナルド・A・ラズバンド長老はこう教えました。「ここには非常に深遠な意味を持ち、思いやりのこもった主御自身のメッセージがあります。イエス・キリストはわたしたち全員に『一人ずつ』教えと導きを与え、全員を『一人ずつ』愛しておられるということです。』² イエスが個人に示された愛を示すことが、ミニスタリングの目的です。

理解する目

救い主は周りの人々を助けられました。中央扶助協会会長ジーン・B・ビ



ンガム姉妹はこう言いました。主は「ほほえみかけ、ともに話し、歩み、耳を傾け、時間を割き、励まし、教え、食物を与え、赦されました。家族や友人、隣人にも見知らぬ人にも同様に仕え、福音の豊かな祝福を享受するよう、知人や愛する人々を招かれました。」³

イエス・キリストは、周りのすべての人々の必要を理解する目を持っておられました。そして彼らすべてに手を差し伸べられたのです。わたしたちも主の模範に従い、助けを必要とする人々に手を差し伸べることができます。

しかし、救い主は完全でした。わたしたちが人の必要を理解し、主がされたように仕え、教え導くにはどのようにすればよいのでしょうか。バラード会長はこう言いました。「毎朝、天の御父に、『神の大切な子供の一人に仕える機会に気づけるよう導いてください』と祈ることです。それから一日を通して、心の中に信仰と愛を満たし

て、助けの必要な人を探すのです。……これを行うなら、あなたの霊的な感受性は研ぎ澄まされ、今まで自分にはできるとはまったく気づかなかった奉仕の機会を見いだすことでしょう。」⁴

促しに従う

次のような場面を想像してください。あなたは学校で友人に会います。彼女は少し元気がありません。彼女のために何かするべきだと感じますが、彼女を悩ませるのではないかと心配です。そして、それが霊的な促しなのか、ただ自分がそう思うだけなのか心配になってきました。

自分がミニスタリングを行うように霊的な促しを受けているのか、ただ自分でそう思っているだけなのか知るのは難しい時があります。しかし、モルモンは霊的な促しを認識する方法をわたしたちに教えています。「神から

出るものはいつも善を行うように誘い、促す。したがって、善を行い、神を愛し、神に仕えるように誘い、促すものはすべて、神の靈感を受けているのである。」(モロナイ7:13)

トーマス・S・モンソン大管長(1927-2018年)はこう言いました。「よく観察し、気づき、御霊の促しに従って行動するなら、大いに善を行うことができます。」⁵

ミニスタリングはすべての人のためにある

2018年4月の総大会で、ラッセル・M・ネルソン大管長はこう発表しました。「主は、わたしたちが互いに心をかける方法について重要な変更を示されました。姉妹たちと兄弟たちは、老若を問わず、新しい、さらに神聖な方法で互いに奉仕するようになります。」⁶これには、ミニスタリングの同僚で奉仕する機会も含まれますが、ミニスタリングは日曜日やミューチャルの活動で行うことではありません。特定の召しに伴う責任ではないのです。ミニス

タリングはすべての人のためのものです。時間は関係ありません。

バプテスマを受けるときわたしたちは、「重荷が軽くなるように、互いに重

促しに従って
行動するなら、
大いに善を行うことが
できます。

荷を負い合うことを望み、また、悲しむ者とともに悲しみ、慰めの要る者を慰めることを」約束します(モーサヤ18:8-9)。周りの人々にミニスタリングをすることは、わたしたち一人一人が交わした聖約の一部です。

前中央若い女性会長のボニー・L・オスカーソン姉妹は次のように言いました。「主は皆さんに、周りにいる仲間を見て、主のように仕えることを望んでおられます。」⁷そのようにするとき、主は人々にどのように愛と思いやりをもって仕えるべきか理解できるような皆さんの目を開いてくださるでしょ

う。主はあなたが何をすべきか推測するような状況にはしておかれません。彼らにとって最もよく仕えることができる方法で、皆さんを導いてくださいます。

ミニスタリングは祝福をもたらす

ネルソン大管長は次のように言いました。「わたしたちは主の僕として、主がなされたように、個人に対して仕え、教え、導きます。」⁸これにより人々を祝福するだけでなく、わたしたちも祝福されます。


十二使徒定員会のディーター・F・ワークトドルフ長老は次のように言いました。「キリストのような愛をもって人に手と心を差し伸べるとき、素晴らしいことが起こります。わたしたち自身の霊が癒され、精錬され、強くなるのです。さらに幸福になり、さらに平安になり、聖なる御霊のささやきがさらに受けやすくなります。」⁹

イエス・キリストはより豊かな、充実した人生への道を示されました。主がされるように仕え、教え、導くことで、生活に真の幸福と平安と喜びがもたらされるでしょう。■

注

1. M・ラッセル・バラード「神から与えられる貴重な賜物」『リアホナ』2018年5月号, 10 参照
2. ロナルド・A・ラズバンド「一人ずつ」『リアホナ』2001年1月号, 36
3. ジーン・B・ビンガム「ミニスタリングー救い主のように」『リアホナ』2018年5月号, 104
4. M・ラッセル・バラード「熱心に携わる」『リアホナ』2012年11月号, 31
5. トーマス・S・モンソン「あなたを導く3つの目標」『リアホナ』2007年11月号, 120
6. ラッセル・M・ネルソン「神のみ業に進みて」『リアホナ』2018年5月号, 118
7. ボニー・L・オスカーソン「目の前の必要」『リアホナ』2017年11月号, 26
8. ラッセル・M・ネルソン「神の力と権能によるミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号, 69
9. ディーター・F・ワークトドルフ「あなたは、わたしの手である」『リアホナ』2010年5月号, 75





クリスマスの 精神を 高める 7つの 方法

買い物やお祝いの行事は楽しいですが、楽しいミニスタリングを行うことが、
クリスマスの精神を持つ鍵です。

教会機関誌
シャーロット・ラーカバル



「何だかクリスマスらしさを
感じられない。」

そのように思ったことは
ありませんか。ちょうど今そう感
じているかもしれません。幾らクリ
スマスソングを大音量で流しても、
どんなにクリスマスのお菓子を頬
張っても、クリスマスの精神を感じら
れないのです。

あなたがそう感じているなら、ま
たはクリスマスの精神を今年はさら
に高めたいと思っているなら、読み
進んでください。

デビッド・O・マッケイ大管長
(1873 - 1970 年) は、簡潔にこう述
べています。「クリスマスの精神は
キリストの精神です。キリストの精
神は心の中に兄弟愛と友情の炎を
燃え上がらせ、親切な奉仕の行いを
するようにわたしたちを導きます。」¹
中央若い女性会長だったボニー・
L・オスカーソン姉妹も賛同していま
す。「クリスマスの精神を高めるに
は、周りの人々に思いやりの手を伸
べて自分自身をささげることです。」²

ツリーを飾り、贈り物を交換する
こともクリスマスを祝う方法ですが、
クリスマスの精神を感じる鍵は人に
仕えることです。」(ミニスタリングに
ついてさらに学ぶには、前の記事
「ミニスタリング——救い主のよう
に行う」を読んでください。)

良い知らせがあります。クリスマ
スの時季には人に仕えるすばらしい
方法がたくさんあります。次のうち
の幾つかを試してみてください。す
ぐに御霊の温かさを感じ、救い主を
近くに感じるでしょう。それこそが
真のクリスマスの精神です。

1. 寂しくしている人を訪問する。

クリスマスを家族や友人と過ごしていない人について考えてください。
お年寄りや近所に引っ越してきたばかりの人を訪ねるのもいいでしょ
う。寂しくしている人たった一人にでも手を差し伸べることは、影響
力のあることです。十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老
は、キリストは一人ずつ人々を助けることで、「『個人』を教え導かれま
した」と指摘しました。³ わたしたちも同じようにすることができます。

2. キャロリングに参加する。

預言者はクリスマス・キャ
ロルが大好きなことを知っ
ていましたか。「サンタの
面白おかしい歌」を大声で
歌うにしても、救い主につい
てのお気に入りの賛美歌を
敬虔に歌うにしても、音楽
を人と分かち合うのは「ク
リスマスの精神を感じる」
すばらしい方法だとラッセル
・M・ネルソン大管長は
考えています。⁴





3. 携帯電話を見る前に周りを見回す。

一日中携帯電話をポケットの中に入れておく必要はありませんが、その場において周りの人に焦点を当てるのもクリスマスの精神を感じる良い方法です。

「携帯で友達の近況をチェックする代わりに、立ち止まって周りを見渡し、『今日、自分を必要としているのはだれだろう』と自問してみてください」とオスカーソン姉妹は言いました。「手を差し伸べて仲間の人生に影響を与え、人知れず悩んでいる友人を励ますという重要な役割を果たすのは、皆さんかもしれません。」⁵

4. 余分に雑用をする。

家を掃除したり、ベビーシッターを申し出たり、何か余分に家事をすると、クリスマスの精神を感じる助けとなるでしょうか。正しい態度でそうするなら、大いに助けとなります。どこかを磨いたり、整理したりしながら、あなたが仕えている人について考えてください。どれだけ家族や友人があなたの良い働きという贈り物を喜んでくれるか考えてください。



5. クリスマスのお菓子を配る。

クリスマスのお菓子を頬張る話を先に挙げましたが、お気に入りのクリスマスのお菓子の一皿を作ってみてはどうでしょうか。幾つか（もしくはたくさん）自分で食べてもいいですが、クリスマスの精神を感じる鍵はお菓子を差し上げるということです。



6. クリスマスの動画を分かち合う。

ソーシャルメディアを通してクリスマスのメッセージを分かち合ってください。どんなものがあるかクリスマスのモルモンメッセージを見てみてください。Mormon.orgにある教会のクリスマスビデオを分かち合えば、だれかの一日をより良いものにすることもかもしれません。友人に送ったり、自分のページで分かち合ってもよいでしょう。

7. こっそり行う。

人に見つからずにどれだけの奉仕ができるでしょうか。だれかの玄関先に食べ物や贈り物を置いてきたり、思いやりのある言葉を書いたメモを上着のポケットにしるばせたり、雪かきをしたり、落ち葉を掃除したりできます。これをあなたがしているとだれにも知られずに行うのです。思い出してください。「あなたのする施しが隠れているためである。」(マタイ6:4)



クリスマスにミニスタリングをする

クリスマスライトやお祝いの装飾は驚きと楽しみをもたらしますが、真のクリスマスの精神を感じるには、楽しいミニスタリングが鍵です。

「〔主が〕この世に來られたことを心からたたえるためには、キリストがされたように、わたしたちの同胞に憐れみと慈悲の手を差し伸べなければなりません」と十二使徒定員会のデイー

ター・F・ワークトドルフ長老は言いました。「これは日々の言葉と行いで実行できます。どこにしようと、これをわたしたちのクリスマスの伝統にしようではありませんか。つまり、もう少し優しくなり、もう少し赦し、もう少し裁きを慎み、もう少し感謝し、もう少し寛大になって豊かにある中から困っている人々に分け与えるのです。」⁶

注

1. David O. McKay, *Gospel Ideals* (1953), 551.
2. ボニー・L・オスカーソン「クリスマスはキリストのような愛」(大管長会クリスマスディボーションナル, 2014年12月7日) broadcasts.lds.org.
3. デビッド・A・ベドナー長老のフェイスブックページ, 2017年1月22日に動画投稿, facebook.com/lds.david.a.bednar/videos.
4. ラッセル・M・ネルソン "Christmas Memories from Prophets and Apostles," *New Era*, 2015年12月号, 10.
5. ボニー・L・オスカーソン「目の前の必要」『リアホナ』2017年11月号, 26.
6. ディーター・F・ワークトドルフ「パンくずをまきなさい」(大管長会クリスマスディボーションナル, 2017年12月3日) broadcasts.lds.org.

クリスマスの欲しいもののリストに

御霊の賜物

を加える

教会機関誌

デビッド・ディクソン



わたしは昔からグリルチーズサンドイッチを作るのが得意でした。そのおいしい料理に加えてほかの幾つかのレシピのおかげで命をつないできましたし、伝道中とその後かなりの年になるまで、困ることはありませんでした。しかし結婚して子供が生まれると、みんなそれぞれ味の好みが変わりました。料理のレパートリーを増やす必要が出てきました。

一方で、料理当番の夜に新しい料理を作るのはかなり大

変でした。わたしのような初心者にとって、夕食を作るのは時間がかかってしまいます。いろいろ作ってみたかったのですが、途中で行き詰まっただけでした。必要な材料をすぐに見つけられなかったり、家になかったりしました。予定していた料理を変更して、素早く簡単にできるもので済ませることの方が多かったと思います。

それでも料理の腕を磨きたいと思っていました。それで、これまでやったことのない経験をしようと決めました。具体

的にある霊的な賜物を祈り求めることにしたのです。

一つの賜物、いろいろな生かし方

わたしは具体的に、物事を整理して管理する賜物を祈り求めました。そうです。整理して管理する賜物です。我が家にはすでにスパイス棚がありましたし、調理器具を入れる引き出しもありました。こうした環境が整っていても、わたしは料理をするより探し物をするのに時間を費やしているようでした。

その賜物を求めて常に祈っていると、具体的な発想を得るようになりました。壁に固定されているスパイス棚は、調味料を使いやすいように整理して置いておけますし、マグネットの付いたキッチンバー（これも壁に据え付け）は包丁など金属製の調理器具を整理しておくのに役立ちます。ほかにもアイデアが浮かんで、実際にやってみると料理に費やす労力に大きな違いが生まれました。タイム〔訳注——ハーブの一種〕が必要？ ガーリックソルト？ ガーリックパウダー？ お任せあれ！

それから興味深いことが起こりました。小さなアイデアが次々と浮かんで、生活のほかの分野でも、ささいな方法でもっと整理できるようになっていったのです。例えば、手作りの3段の洗濯棚が家族全員を約束の地まで運んでくれることはありませんが、ニーファイならそれを作った方法を十分理解してくれるでしょう。一つ一つ受けた促しに従って作ったのです。

整理して管理する霊的な賜物によって、わたしの生活だけでなく、家族の生活も予想以上に改善しました。

どれもわたしがその賜物を求めたことによって起こったのです。

賜物は多くあるが、求める者は少ない

使徒パウロはコリントの人々に、受けられる様々な霊的な賜物の中から幾つか教えました。信仰や癒しなどについてです（1コリント12：5－11参照）。そして、「更に大いなる賜物を得ようと熱心に努めなさい」と勧めました（1コリント12：31）。

むさぼること〔訳注——英語では「熱心に努める」とい

う言葉が、通常は否定的な意味で使われる「covet」（むさぼる）となっている〕が良いことだと考えるのは違和感があるかもしれませんが、この場合はそうなります。わたしたちは、目に映るほかの人の霊的な賜物に幾つか注目するよう、そして同じ賜物を授けてくださいと神に求めるよう教えられています。そのように望む目的は、周りの人によりよく仕え、神の王国を築けるようにするためです（教義と聖約46：26－29参照）。

賜物は、聖典に書かれているもの以上にさらに多くあります。忍耐は霊的な賜物です。楽天的であることもそうです。勇敢であったり、場を和ませることもそうです。七十人のラリー・R・ローレンス長老はこのように教えています。「わたしは時々、天にある大きな倉庫を想像します。倉庫は霊的な賜物でいっぱい、信仰をもって求めるすべての聖徒に与えられます。残念なことに、あまりに多くの人が求めることをしないので、いつも在庫が多すぎるのです。」¹

ローレンス長老は慈愛の賜物を求めて祈ることにした友人についてこう述べています。「彼女は次のように書いています。『慈愛を増してくださるようにと、何か月も具体的に祈ってきました。……少しずつ、周りの人への感じ方が変わってきました。……ただ彼らを愛するのではなく、一緒にいて楽しいと感じるようになってきました。以前は距離を置いていましたが、今はすべての人に心から興味を持っています。』」²

準備万端であなただけを待っている賜物

霊的な賜物は、物質的な贈り物よりもはるかに価値があります。実に最善の贈り物なのです。聖典の中でわたしたちは「熱心に最善の賜物を求め」るように命じられています（教義と聖約46：8）。

クリスマスの日の朝、どのような贈り物の箱を開けたいと望むかにかかわらず、「最善の賜物」も幾つかあなたに用意されていると想像してみてください。それらの賜物は「包装されて」、あなたと周りの人を祝福する用意ができています。

ですから、祈り求めてください。■

注

1. Larry R. Lawrence, "Why Not Ask?" (Brigham Young University-Idaho devotional, June 13, 2017), byui.edu/devotionalsandspeeches.
2. Larry R. Lawrence, "Why Not Ask?"

「わたしは、救い主に愛されるのに
ふさわしくないと感じています。
どうしたらこのような気持ちを
克服し、自分の価値を見いだす
ことができるでしょうか。」



「神の愛は、皆さんが
その愛にふさわしい
と感じているかどうか
にかかわらず、皆さん
のために存在してい
ます。いつでもそこに
存在しているのです。」

切実な真心からの
祈りによって、そして
真剣で熱心な聖文の
研究によって天の御
父を求めるとき、証は
強められ、深く根付き
ます。神がわたしたち
を愛してくださってい
ることが分かり〔ま
す〕。」

トーマス・S・モンソン
「決して独りで歩いているのではない」
『リアホナ』2013年11月号、124



神の愛を感じるために
祈る

わたしたちは皆、天の御
父の息子娘です。わたし
たちへの神の愛は無限
です。神の愛にふさわしくないと感じ
ることがあれば、天の御父に祈るべき
です。神の愛を感じられるよう祈って
ください。あなたへの神の愛にふさ
わしいと感じるように、そして神が御
覧になるようにあなた自身を見られる
ように祈ってください。御父の完全な
愛を確信できるよう、主の時に主の方
法によって、必ず祈りにこたえてくだ
さい。わたしは落ち込んだときや孤
独に感じるときはいつでも、神の愛を
求めて祈ることによって励まされます。

ジュリア・M, 16歳
(アメリカ合衆国、バージニア州)



救い主に近づく

最近、伝道準備クラスで、
神のわたしたちへの愛に
対してどのように目を開く
ことができるかについて
話し合いました。どのようにもっと自
分の価値を感じられるか、様々なこと
を話し合いましたが、その中には、隣
人に仕えること、自分にとって大切な
ことに関して助けを求めて祈ること、
聖文を読むことや、宣教師になること
などがありました。そのすべては、イ
エス・キリストに近づくためのもので、
主のようになれる可能性を認識する助
けとなります。

サンティアゴ・Z, 17歳
(アメリカ合衆国、アリゾナ州)



戒めを守る

時々わたしは、救い主から愛されるのにふさわしいと感じられないときがあります。それは主の戒めに完全には従っていないからです。そのような思いを克服するために、悔い改めることができますが、時にはビショップの助けを受けることもあります。ビショップは主が御自身のすべての子供たちを愛しておられることを教えてください。

ジャクス・D, 15歳 (コートジボワール, アビジャン)

悔い改めが鍵となる

わたしたちは皆、罪を犯しますが、そのために救い主の愛を受けるのにふさわしくないとthinkかもしれません。しかし、主は御自身の命をわたしたちのためにささげられたのです。わたしたちのために犠牲となられたのです。その無私的行為は、愛のゆえに行われました。主の愛にふさわしいと感じるためにすべき唯一のことは、罪を悔い改めることによって主の贖いの力を使うことです。悔い改めは自分の価値と救い主の愛を認識する鍵となるのです。

クスタン姉妹, 23歳 (フィリピン, セブ伝道部)

人々を愛する

自分の価値に気づく一つの方法は、周りの人の価値を認識することです。ほかの人に焦点を当てることにより、自分に満足できます。人々を鼓舞しているからです。これは双方にとってプラスになります。わたしは自信が持てないときに、助けを必要としている周りの人に仕えようと決めました。毎日大変そうにしていた友人に、1か月毎日褒め言葉を伝えました。ほかの人々に焦点を当てることで、自分は価値があり、必要とされていると感じることができました。周りの人をありのままに愛するよう努めるとき、神がどれほどわたしたちのことを愛してくださっているのかがもっと分かるようになります。ほかの人が愛を受けるのにふさわしいと感じられるように助けることによって、わたしたち自身も愛を受けるのにふさわしいと感じることができるのです。

ジェイミー・W, 15歳 (アメリカ合衆国, ミネソタ州)

本誌の答えは、問題解決の一助となるように意図されたものであり、教会の教義を公式に宣言するものではありません。

悔い改めたのですが、まだひどく罪悪感があります。どうすれば平安を得られるでしょうか。

イエス・キリストの無限の贖いによって、完全に悔い改めれば、罪悪感はすっかりなくなります。それでも時々、悔い改めたにもかかわらず、罪の記憶から、罪悪感が呼び覚まされるように感じる人もいます。

罪悪感は「神のみこころに添うた悲しみ」であり(2コリント7:10)、助けとなり得るのです。罪悪感の思いをイエス・キリストに集中させ、真の悔い改めと変化へと導いてくれます。一方、恥ずかしさは自分を中心とした思いであり、成長を妨げてしまいます。

モルモン書には、どのように悔い改めてイエス・キリストにより平安を受けることができるのか、良い例が載っています。

- ・アンモンは過去の罪を思い出して、救い主と主の憐れみを賛美し、苦しみではなく喜びを感じました(アルマ26:17-20参照)。¹
- ・アルマは「心に〔イエス・キリストと主の贖いについての〕思いがはっきりと浮かんできたとき、……二度と罪を思い出して苦しむことがなくなりました(アルマ36:17-19)。記憶はまだ残っていましたが、それによって苦しむことはなくなったのです。²

注

1. リチャード・G・スコット「良心の安らぎと心の安らぎ」『リアホナ』2004年11月号, 18参照
2. ディーター・F・ウークトドルフ「帰還可能点」『リアホナ』2007年5月号, 101参照

あなたはどのように思いますか。

「どうしたら伝道に出る決意ができるでしょうか。」

あなたの意見と、希望する場合は高解像度の写真を、2019年1月15日必着で liahona.lds.org からお送りください(「投稿する」をクリックしてください)。

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

救い主の降誕のおかげで

「この世において平和を, また来るべき世において永遠の命を〔得ることが〕」

可能

となりました。

(教義と聖約 59 : 23)

ヘンリー・B・アイリング管長
大管長会第二顧問

「平安の賜物」(2016 年 12 月 4 日, 大管長会クリスマスディボーション)





イスラエルの集合を助けるために主の青少年のチーム、
つまり**青少年の大隊**に加わる

5つの事柄を行うことによって備えるようお勧めします。
この**5つの項目**は皆さんを変え、皆さんが世界を変える助けとなるでしょう。



1. 7日間、
ソーシャルメディアを
断つ。

2. 週に1度、
主に時間を犠牲として
ささげる。



3. 聖約の道に
とどまる。

4. すべての人が
福音を
受けられるように
毎日祈る。



5. 際立った人になる。
異なった人になる。
光となる。



カールのクリスマスプレゼント

ジュリアン・テニー・ドーマン

ほんとうにあったお話をもとに書かれました。

「しなければいけない仕事があるときは、笑顔でやろう。たのまれた以上のことをして、2マイル行こう。」(『子供の歌集』英文, 167)

カールは風に風に向かって自転車をおしながら、身ぶるいしました。「家に帰って、体を温めるのが待ちきれないな」と思いました。「それから、クリスマスプレゼントを開けるのも待ちきれない!」

その日は、いつもよりもっと早く起きて、新聞を配りました。家に向かって自転車をおしながら急な坂道を上るとき、お母さんの作るクリスマスのシナモンロールパンのことを考えていました。きっとすごくおいしだろうなあ。上にかかっている、あまい、とろっとしたクリームの味がしてきそうでした。

クリーム! カールはかたをがっくり落としました。牛のちしほりや、ほかにもやらなければならない仕事があったことをすっかりわすれていたのです。クリスマスだというのに。

カールは家の前に自転車をとめました。いつもは、きょうだいでだれが最初に新聞の配達を終えられるかを競っていましたが、今日はまだきょうだいの自転車がなかったのです。カールの勝ちです!

勝ったときにいやなことは、きょうだいに来るまでプレゼントを開けるのを待たなければならないことでした。それからまた外に出て、毎日の仕事をするのです。カールは、ただ家にいてクリスマスを楽しむためののになと思ひました。

「今、仕事を片付けちゃえばいいんだ」とカールは思いました。「そうしたら、寒い中また外に出なくてすむぞ。」カールは急いで納屋に向かいました。

牛のちしほりをするために、バケツを持ってすわると、カールは辺りを見渡しました。ほかの手伝いもまだまだたくさんありました。そのときに、あるアイデアがうかびました。もし自分が全部の仕事が終わらせてしまえば、家族をおどろかせることができます。いっしょにクリスマスの朝をすごすことができます。今までで最高のクリスマスプレゼントになるでしょう!

カールは急いでちしほりをしました。それから納屋のそうじをして、ニワトリにえさをやり、たまごを拾いました。家族がどんなにおどろくだろうと思うと、にっこりしました。

カールは家に帰りました。だれかいるかなと思ひながら、ドアからのぞきこみました。それから、台所のぞきました。ちょうど牛乳とたまごを冷蔵庫に入れ終わったとき、お母さんが入って来ました。

「あらよかった。お帰り。」お母さんはそう言って、カールをだきしめました。「カールはどこにいるんだらうって、みんな思ひ始めていたところよ。」

お母さんはカールがコートをぬぐのを手伝いながら言ひました。きょうだいたちは、カールを見て「カールが帰って来た!」とさけびました。「プレゼントを開けようよ!」全員がクリスマスツリーの周りに集まり、お父さんがプレゼントをわたしてくれるのを待ちました。カールは、みんなが自分の宝物を分かち合うのを見るのが大好きでした。

「よーし! 仕事の時間だぞ。」お父さんが言ひました。「でも、まずはジュースとシナモンロールパンを食べないとな。」

お父さんは台所に歩いて行くと、冷蔵庫を開けてじっと見つめました。

そして「見てごらんよ!」と言ひました。「ミルクの入れ物はいっぱいになっているし、たまごも集めてある。一体、だれがやってくれたんだらう?」

そう言ひながらお父さんが居間にもどって来ました。カールはついにやにやしてしまうのをおさえようと大変でした。

「何か知ってるのかい、カール?」お父さんが笑顔で聞きましました。「もう朝の仕事は全部終わっているようなんだがね。」

「メリークリスマス!」カールがさけびました。

お父さんはカールをだきしめて、こう言ひました。「ありがとう、カール。とても思ひやりのあることをしてくれたね。これまでに最高のクリスマスかもしれないな!」

カールはにこっと笑ひました。カールは自分にとって一番のクリスマスだと知っていました。■

このお話を書いた人は、アメリカ合衆国コロラド州に住んでいます。

ケイティーとクインシー

エバン・バレンタインとマリッサ・ウィディソン

ほんとうにあったお話をもとに書かれました。

「友は、いずれの^{とき}にも愛^{あい}する。」(箴言 17:17)

ケイティーは歌^{うた}が大好きでした。ダンスも大好きでした。そして何^{なに}よりも、安息日^{あんしつ}が大好きでした。友達^{ともだち}のクインシーに会^あえるからです。

ケイティーはダウンしょうというしょうがいがあります。教会^{きょうかい}でもこんらんして、どうしたらいいか分からなくなるときがあります。でも、ケイティーは、教会^{きょうかい}ではクインシーがそばで助^{たす}けてくれると知^しっています。

クインシーはケイティーの手^てを取^とって、初等^{しやうとう}協会^{きやうかい}に一緒^{いっしょ}に行^いってくれました。分かち合^{わかちあ}いの時間^{じかん}に、ケイティーがそわそわするときは、クインシーがだきしめてくれました。そうするといつもケイティーは落^おち着^つくことができました。分かち合^{わかちあ}いの時間^{じかん}の後^{あと}、クインシーはケイティーが自^じ分の^{ぶん}クラスを見^みつけられるように助^{たす}けてくれました。ケイティーはクインシーが大^{だい}好き^すきでした。

ある日^ひ、ケイティーはクインシーの家族^{かぞく}にとても悲^{かな}しいことがあつたことを知^しりました。クインシーのお兄^{にい}さんのコリーがなくなつたのです。ケイティーは、クインシーがとても悲^{かな}しんでいることを知^しっていました。クインシーがお兄^{にい}さんのことをとても好^すきだつたことを知^しっていたからです。

お母^{かあ}さんはケイティーに、今日^{きょう}の夜^{よる}、クインシーの家族^{かぞく}のことをみんながどれほど愛^{あい}しているかをクインシー家のみんなに伝^{つた}えるために、教会^{きょうかい}に集^{あつ}まる予^よ定^{てい}だと教^{おし}えてくれました。そして、明日^{あした}はコリーの葬^{そうしき}式^{しき}です。

「今日^{きょう}の夜^{よる}、お父^{とう}さんとお母^{かあ}さんといっしょに、あなたも教会^{きょうかい}に行^いきたい?」と、お母^{かあ}さんが聞^ききました。

ケイティーはうなずきました。クインシーに大好きだと伝^{つた}えたかつたのです!

お母^{かあ}さんが、よそ行^いきの服^{ふく}を着^きるのを助^{たす}けてくれました。そして、車^{くるま}で教会^{きょうかい}に行^いきました。



教会^{きょうかい}に着^つくと、た^{ひと}くさんの人^{ひと}がいました。知^しっている教会^{きょうかい}の人^{ひと}もいました。ビショップの^みすがたも見^みえました。初等^{しやうとう}協会^{きやうかい}の先生^{せんせい}もいました。でも、クインシーはいませんでした。

「お母^{かあ}さん、クインシーはどこ?」ケイティーはお母^{かあ}さんに聞^ききました。

お母^{かあ}さんも知^しりませんでした。

「だれかに聞^きいてみましょうか?」とお母^{かあ}さんが言^いいました。

いつもは、ケイティーはた^{ひと}くさんの人^{ひと}がいてるこ^{はな}ろで話^{はな}すのは好^すきではありませんでした。でも、今日^{きょう}はクインシーを

さがさなければなりません。勇気が出てきました。ビショップのところに向かいました。

「クインシーは悲しんでいるの。だから、クインシーをさがさないといけないの!」と言いました。

ビショップはにっこりして、ケイティーの手を取ってくれました。「じゃあ、クインシーをさがしに行こう。」

ビショップとお母さんとケイティーは一緒に教会の中を歩き回りました。そしてついに、クインシーを見つけたのです! クインシーはすみにすわっていました。とても、とても悲しそうでした。

ケイティーはクインシーに近寄って、だきしめました。ケイティーは、クインシーがどれほどお兄さんがいなくてさびしいだろうと思いました。

「大丈夫よ、クインシー。イエスさまがコリーのことを助けてくださるわ」とケイティーが言いました。ケイティーはク

インシーのかみの毛をやさしく、やさしくなめました。

クインシーが泣き始めました。ケイティーはクインシーをもっと強くだきしめました。

「大丈夫よ」とケイティーが言いました。「イエスさまがコリーのことを助けてくださるわ。」

クインシーは泣き続けました。ケイティーはクインシーをずっとだきしめていました。しばらくして、クインシーが静かになりました。まだ鼻がぐずぐずしていましたが、泣くのはおさまってきました。クインシーはケイティーを見上げると、

「ありがとう、ケイティー」と言いました。「あなたの言うとおりね。イエスさまはお兄ちゃんを助けてくださるわよね。」

ケイティーは大好きな友達の気持ちを少し楽にしてあげられたのが、うれしくてたまりませんでした。ケイティーはクインシーが大好きでした! ■

このお話を書いた人は、アメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。



しょうがいを持つ友達

しょうがいがあると、体を使うのがむずかしいことがあります。のうを使うのがむずかしいしょうがいもあります。のうと体の両方にえいきょうがあるしょうがいを持つ人もいます。たとえどんなしょうがいを持っていても、すべての子供は、大切な神の子であり、愛されています。

しょうがいを持った人に会ったら

こういうことはやめましょう

じろじろ見たり、指をさしたり、ひそひそ話をすること。

無視すること。

ばかにすること。

いじわるなあだ名でよぶこと。

こうしましょう

あいさつをして、親切にする。

失礼でない質問をする。

いじわるな人がいたら、一緒にいて守ってあげる。

あなたと同じように、神様の子供であることを

わすれないようにしましょう!



けいけんは愛^{あい}



ルアイボウ・W, 10才^{さい}
(オーストラリア, ビクトリア州)

あ^{きんようび}る金曜日のこと、わたしが書い^か
た詩^しを、集会^{しゅうかい}のときに全校生徒^{ぜんこうせいと}
や先生^{せんせい}、そして保護者^{ほごしや}の前^{まえ}で読むよう

に先生^{せんせい}から言^いわれました。わたしはとてもこうふんし、「は
い!」と答^{こた}えました。でも、とてもきんちょうもしてました。

ステージの上^{うへ}で、自分^{じぶん}の出番^{でばん}を待^{まち}っているとき、心臓^{しんぞう}がど
きどきし始め^{はじ}めました。自分^{じぶん}が書^かいた詩^しをたくさん^{おほ}の人に読^よ
んで聞^きかせると思^{おも}うと、とてもきんちょうしました。

すると心^{こころ}にある考^{かんが}えがうかびました。毎朝^{まいあさ}、登校^{とうこう}する前^{まえ}
に、家族^{かぞく}と一緒^{いっしょ}にモルモン書^{せいふん}を読^よんでいることを思^{おも}い出^だ
しました。家^か族^{ぞく}と一緒^{いっしょ}に聖文^{せいぶん}を読^よむことを考^{かんが}えたとき、天^{てん}
のお父様^{とうさま}のことが思^{おも}うかびました。天^{てん}のお父様^{とうさま}がどれほど
自分^{じぶん}を愛^{あい}してくださっているかを考^{かんが}えました。そうすると、
心^{こころ}がなぐさめられて、ひとりぼっちではないと感じました。
どきどきしなくなり、けいけん^{きけん}な気持^{きもち}になりました。

『子供^{こども}の歌集^{かしゅう}』の12ページに、このような歌詞^{かし}があります。

しず ふか しゅおも
静^{しず}かに深^{ふか}く主^{しゅ}思^{おも}う

それがけいけん

しゅ あい しゅ かんしや
主^{しゅ}を愛^{あい}し主^{しゅ}に感^{かん}謝^{しゃ}しよう

けいけんとは愛

おこな こと ば
行^{おこな}い言^{こと}葉^ばけいけん^に

イエスさまの教^{おし}え

けいけん^{かん}なとき感^{かん}じる

かみ
神^{かみ}さまとイエスさま

しゅうかい
集会^{しゅうかい}のことできんちょうしていたとき、天^{てん}のお父様^{とうさま}の愛^{あい}を
感^{かん}じたことに感^{かん}謝^{しゃ}します。天^{てん}のお父様^{とうさま}がわたしをとても愛^{あい}
しておられることを知^しっているので感^{かん}謝^{しゃ}します。

むずかしいじょうきょうでも、けいけん^{かみさま}になり、神^{かみ}様の^{こと}
を考^{かんが}えることを選^{えら}べます。■



七十人

アディルソン・デ・
パウラ・パレーラ長老

「主イエスの愛 分かち合うため 人に仕え 喜び得る」
《子供の歌集》 42 - 43, ただし、この歌詞は日本語には
ない英文の4番の歌詞をやくしたものです。）

わたしの家族はブラジルのサンパウロに住んでいました。
通りの向かい側には、マングローブの森がありました。
マングローブの森では、木々の間を川が流れています。土地
はとてもぬかるんでいます。

たくさんの人々がそのぬかるんだ土地に家を建てました。
どろの中に大きな丸太を置きます。それから、その上に家を
建てるのです。でも、雨がふると川があふれて、家の中にも
水が入って来ました。そうすると、人々は夜、ねむる場所
がどこにもありません。

そんなとき、わたしのお父さんは、全員を家に入れてあげ
ます。15人来たこともありました！お父さんはみんなを居
間に連れて来て、毛布をわたしました。お母さんは食べる
ものを作りました。そして、その人々は次の日までわたした
ちの家でねむりました。

どろから救われる

このようなことが、少なくとも3、4回ありました。わたし
はこんなふう考えたのを覚えています。「全然知らない
人を自分の家に入れてあげる人なんてあまりいないよ。」わ
たしのお父さんは、ほとんど知らない人を家に入れてとまら
せてあげたのです！でも、すぐにこう思いました。「でも、
ほかに行く場所がないんだ。」

わたしの両親は、いつも人を助けるために何かをしてい
ました。でも、二人のする奉仕は、助けたり、あたえたりす
るだけではありませんでした。あまりよく知らない人にも、
隣人として愛をしめしていたのです。

わたしたちは助けを必要としている人々に手を差ししのべ
なければなりません。自分にできるあらゆることを行って
助ける必要があります。人々を助けるために、自分にでき
ることをひかえてはいけません。休む場所や必要な物資を
あたえることができます。時間を分かち合うことができます。
天のお父様やイエス・キリストについての知識を分かち合う
ことができます。クリスマスの季節は特にそうです。■





「イエス・キリスト〔は〕生きておられ、世の救い主、あがない主であられ〔ます〕。
イエス・キリストは真の幸福に通じる道をじゅんびしてくださいました。」

十二使徒定員会

クエンティン・L・クック長老

「わたしたちはイエス・キリストに従う」『リアホナ』2010年5月号, 86

わたしたちのページ



バプテスマの水に入り、イエス・キリストの教会の会員
 にかくにんされて、とてもうれしかったです。清くあつて、
 いましめにしたがうなら、せいいはいつも一緒にいてく
 ださいます。神様が生きておられて、わたしたちを愛して
 おられることを知っています。教会が真実であり、モルモン書
 が真実であることを知っています。

ホアン・O, 8才 (コロンビア, カリ)



「天のお父様の計画が大好きです。」
 イリアンタム・D
 「みんなにそれを伝えたいです。」
 ベラン・T (フィリピン, ルソン)



「主の宣教師」エミリオ・A, 9才
 (アルゼンチン, フォーモサ)

いつでも誕生日は特別です。でも、小さいときから
 バプテスマのためにじゅんびしてきました。
 今、バプテスマを受けてとても幸せです。
 天のお父様がわたしのことを喜んでおられて、
 わたしのことを愛しておられることを知っています。

ダナ・M, 9才 (グアテマラ, チマルテナンゴ)



この世に光を かがやかせる 兄弟たち

こんにちは
ぼくたちは、
ヒューバートと
ジェイデンです。



1

ジェイデン — クリスマスソング

がっこうのクラスで、クリスマスのげきを
しました。そのげき全体のピアノを
ひきました。みんなに「おおきよき
夜」の歌を教えました。

2

ジェイデン — 近所の人に教える

あそびでいるとき、近所の人に教える
のが好きです。近所の人に奉仕し
たいからです。マタイ5:16で、イ
エスはわたしたちに光をかがやか
せるように教えてくださいました。
そうするとき、ぼくは幸せな気持ち
を感じます。

3

ヒューバート — おなかのすいている人を助ける

がっこうの休みの間、おなかのすいて、何も食べ
る物がない人々を見かけます。ぼくは自分
のお菓子を分けてあげて、かれらが楽になる
ように助けます。分けてあげると、幸せな気
持ちになります。

4

ヒューバート—— オルガンをひく

教会で、ほくは教会員が
歌えるようにオルガンを
ひきます。それをする
とき、幸せな気持ちを
感じます。

ぼくたちは、ガーナという
国に住んでいます。
ぼくたちの住んでいる
アクラは大西洋の
近くに 있습니다。
美しい神殿もあります。

5

この世に光をかがやかせる

聖文には、イエスが世の光、
世の命であられると書かれ
ています。だから、この世に
光をかがやかせましょう。



リアホナにあなたの星を送ってくれて
感謝します！

今年、みなさんは、何千という星と、愛ある奉
仕によって、わたしたちの空をいっぱいにしてく
れました。みなさんはほんとうに光をかがや
かせてくれました！

ヨナとクジラ

キム・ウェブ・リード



神様はヨナに伝道に行くように言われました。ニネベという町に行って、人々に
改めるように伝えなさいと言われました。でも、ヨナは行きたくありません
でした。ヨナは別の町に向かう船に乗りました。



すると大きなあらしにおそ
われました。船乗りたちは、
船がしずんでしまうのではな
いかとこわくなりました。

ヨナは、
神様があらしを起こされたのは、
自分がにげたからだと分かりました。
ヨナは船乗りたちに、
自分を船から投げ出せば
あらしはやむだろうと言いました。



神様はヨナをすくうために、クジラを送って下さいました。ヨナは3日
間、クジラのおなかの中にいました。ヨナはいのりしました。くい改めて
神様にしがうことにしました。神様はクジラに、ヨナをかわいた地には
き出すようにお命じになりました。



ヨナはニネベに行きました。ヨナはそこに住む人々に教えました。そしてニネベの人々はヨナの言うことを聞きました。もう一度、神様にしたがうようになったのです。



わたしが間違っ^{まちが}た選^{えら}びをするとき、く^{あらた}改^{あらた}めて、もう一度やり直^{なお}すことができます。神様はヨナを愛^{あい}しておられます！
神様はわたしのことも愛^{あい}しておられます！ ■

ヨナ1-4章^{しょう}から。

お お よろこ っ た
「大きな喜びを、あなたがたに伝える。」

——ルカ 2:10





十二使徒定員会
ブルース・R・
マッコンキー長老
(1915-1985 年)

ジョセフ・スミスを通してキリストを知る

キリストおよび救いに関する知識が現代にもたらされるに
当たって、仲介役を果たした人物がいます。

救いはキリストにあることを、わたしたちは教え、証します。イエスはわたしたちの主であり、神であり、王であられます。あらゆる時代のすべての聖なる預言者や聖徒と同様に、わたしたちはその御名によって御父を礼拝します。

主を喜び、その贖いの犠牲に喜びを覚えます。その御名はあらゆる名に勝り、すべてのひざは主の前にかがみ、すべての舌はその御方があらゆる者の主であり、その御方なくして不死不滅も永遠の命も存在しないことを告白します。

しかし、今日、わたしはもう一人の人物について話したいと思います。それは、キリストおよび救いに関する知識が現代にもたらされるに当たって、仲介役を果たした人物のことです。……

わたしは、回復の偉大な預言者ジョセフ・スミス・ジュニアについて話します。彼はこの神権時代にあつて、最初に天の声を聞いた人物であり、神の王国が再び人の中に打ち立てられるに当たって、主の手に使われた人物です。……

1820 年の春、長年にわたって地上を覆っていた暗黒の幕が〔父なる神とその御子イエス・キリストによって〕引き裂かれました。……御二方は、日の栄えの家から、ニューヨーク州パルマイラの近くにある森に降って来られたのです。少年ジョセフを名前と呼ばれると、御二方はジョセフに、……御二方の完全な永遠の福音を回復するために、御手に使われる者となるようお告げになりました。……

ジョセフ・スミスとその神聖な使命に関して、自分はどういう立場にいるのかを、あらゆる人が自問するとよいでしょう。キリストの福音以外に見いだすことのできない救いを、主の名によって尋ね、末日の預言者に啓示されたままに求めているのでしょうか。……



この時代のあらゆる人が答えなければならない重大な問いとは、そしてその問いに自身の救いがかかっているのですが、それはジョセフ・スミスは神から召されたのか、ということです。……

……誤解のないように申し上げます。わたしたちはイエス・キリストの証人です。キリストはわたしたちの救い主です。……しかし、わたしたちは同時にジョセフ・スミスの証人でもあります。ジョセフを通してキリストを知っています。ジョセフは、地上でつなぎ天で結び固める権能を与えられた正統な管理者であつて、彼の時代以降あらゆる人が救いを受け継ぐ者となれるようにしてくれたのです。■
『偉大な回復の預言者ジョセフ・スミス』『聖徒の道』1976 年 8 月号、410 - 412 より。英語の大文字使用は統一しました。



Nativity quilt (キリスト降誕のキルト)
by Judy Wangemann

「きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。
あなたがたは、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見ろであらう。それが、あなたがたに与えられるしである。
『いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように。』」(ルカ2:11-12, 14)

ヤングアダルト

大きな決断を下すには？

手を取って
導いてくださる御方を
信頼しましょう。

42

「一つとなる」祝賀
一致し、将来に目を向ける

46, 51

青少年
自らの奉仕の務めを果たす

52

クリスマス
喜びを分かち合う7つの方法

56

クリスマスの欲しいもののリストに
追加してください

60



末日聖徒
イエス・キリスト
教会

JAPANESE

